

# 取扱説明書

Xシリーズ

## 電話帳/履歴管理アプリケーション (Xi) (ET-TDCHAP-Xi)

---

Ver2.1.0.X

## 利用規約

本規約に同意いただいた場合のみ使用していただくことができます。

### 1. 著作権

電話帳/履歴管理アプリケーションXi〔以下本プログラムという〕の著作権は株式会社日立情報通信エンジニアリングおよび株式会社ナカヨが所有する。

本規約の定めによるもの以外、本プログラムのどの部分も、当社からの事前の書面による許可なく、電子的、機械的、複写機、記録などいかなる方法、いかなる形でも、転送、複製、検索システムに登録してはならない。

### 2. 使用範囲

本プログラムの使用は電話帳データ設定、履歴データの読み込みに限る。

### 3. 複製の制限

使用にあたって登録会社内で、当社の製品の設置やメンテナンスの目的で使用する範囲で、複製を作成してもよい。

### 4. 制限事項

他者に本プログラムの複製を分配したり、あるいはネットワーク上で1つのコンピュータから他のコンピュータへ本プログラムを電送してはならない。本プログラムは企業秘密を含み、同秘密を保護するために、本プログラムを逆コンパイル、解析、逆アセンブル、その他人間が認知できるような形態に変更してはならない。さらに、本プログラムやその一部を、修正、改造、翻訳、賃貸、賃借、貸与、利益のための再販売、配布、ネットワーク接続し、あるいは本プログラムやその一部に基づく派生的作品を作成してはならない。

### 5. 本プログラムの所有権

使用にあたって登録会社はプログラムが記録あるいは固定された媒体を所有するが、オリジナルの媒体に記録された本プログラム、並びにその後作成される本プログラムのすべての複製に対する権利および所有権は、当該オリジナルおよび複製が存在する形態や媒体にかかわらず、当社が保持する。

### 6. 機密保持

使用にあたって登録会社は、本プログラムの機密性を保持し、当社の事前の書面による明示的同意なしに、本プログラムをいかなる第三者にも開示しないこと。さらに、登録していない者の本プログラムに対するアクセスを阻止するために、あらゆる合理的な手段を講じること。

### 7. 個人情報の管理、保護

本プログラムを使用して確認出来る個人情報（お客様の電話帳データ等）は、使用を目的とする特約店様、販売店様がお客様に承諾を得た上で管理、利用すること。また、個人情報を管理する特約店様、販売店様については、個人情報の漏えい、改ざんなどの危険にさらされないように取り扱い権限者の明確化などの組織的な対応、さらに悪意をもった者の不正なアクセスを阻止するためにあらゆる合理的なセキュリティを確保すること。

【個人情報管理、保護に対するお客様へのご説明内容】

- ①使用目的：本プログラムを使用することにより、工事／保守時間の短縮を図ることを目的とする。
- ②お客様の主装置へのアクセスについては、販売店が教育した特定の保守者が実施する。
- ③お客様データ、電話帳への登録情報は事前の書面による明示的同意なしに、いかなる第三者にも開示しない。

### 8. 賠償責任の制限

収益上の損失、貯蓄の損失、あるいはデータの消失を含むいかなる偶発的、結果的、あるいは間接的損害についても、またはその他の何らかの当事者によるいかなる請求についても、当社はいかなる責任をも負うものではない。

### 9. 輸出

本プログラムまたは関連文献を輸出（海外提供）される場合には、外国為替および外国貿易法の規則ならびに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続きを取ること。

## —— 目次 ——

### ■第1部《概要編》

1. はじめに(必ずお読みください)	1-1
1-1 本プログラムの概要	1-1
1-2 パソコンのハードウェア条件	1-2
1-3 接続方法	1-2
1-4 新規インストール	1-4
1-5 更新版のインストール	1-5
1-6 アンインストール	1-6
1-7 プログラムの起動	1-7
1-8 現在使用している主装置の電話帳関連データを変更するときの注意事項	1-8
1-9 Q&A集	1-8

### ■第2部《電話帳関連データ設定編》

1. 本プログラムの操作の流れ	2-1
2. 電話帳関連データの読み込み	2-2
3. 電話帳関連データの編集	2-4
●Excel®を使用して電話帳関連データを作成、編集する	2-9
4. 電話帳関連データの書き込み	2-14

### ■第3部《履歴データ編》

1. 本プログラムの操作の流れ	3-1
2. 履歴データの読み込み	3-2
3. 履歴データの表示とファイル操作	3-4
4. 保存した履歴データの確認	3-7
●Excel®を使用して履歴データを確認する	3-9

### ■第4部《発信規制番号／着信拒否番号データ設定編》

1. 本プログラムの操作の流れ	4-1
2. 発信規制番号／着信拒否番号データの読み込み	4-2
3. 発信規制番号／着信拒否番号データの編集	4-4
●Excel®を使用して発信規制番号／着信拒否番号データを作成、編集する	4-7
4. 発信規制番号／着信拒否番号データの書き込み	4-8

※本説明書内の画面は一例です。プログラムの種類やバージョン、パソコン側の環境によって異なる場合があります。本説明書中の画面は、Windows® 10の例で記載しています。

●Windows® 10はMicrosoft® Windows® 10 operating systemの略です。

●Windows® 11はMicrosoft® Windows® 11 operating systemの略です。

●Microsoft, Windows, Excel, Microsoft Edgeは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

## 1. はじめに(必ずお読みください)

### 1-1 本プログラムの概要

本プログラムは以下のことができます。

#### ●主装置の各種設定データ、履歴データなどをパソコンに読み込む

それぞれのデータは別々に読み込みます。読み込んだデータはファイルに保存することができます。

読み込めるのは以下のデータです。

- ・電話帳データ(内線電話帳、外線グループ名、相手区分名、付加情報定型文、ワイヤレス呼出ボタン名称のデータも含む)
- ・発信規制番号
- ・着信拒否番号
- ・履歴データ(内線着信履歴、外線着信履歴、外線発信履歴)

新規工事以外で設定を変更する場合は、必ず最初に実行してください。

#### ●パソコン上で各種設定データを作成/変更する \*

作成した内容をファイルに保存したり、ファイルから読み込んだりできます。扱えるのは以下のデータです。

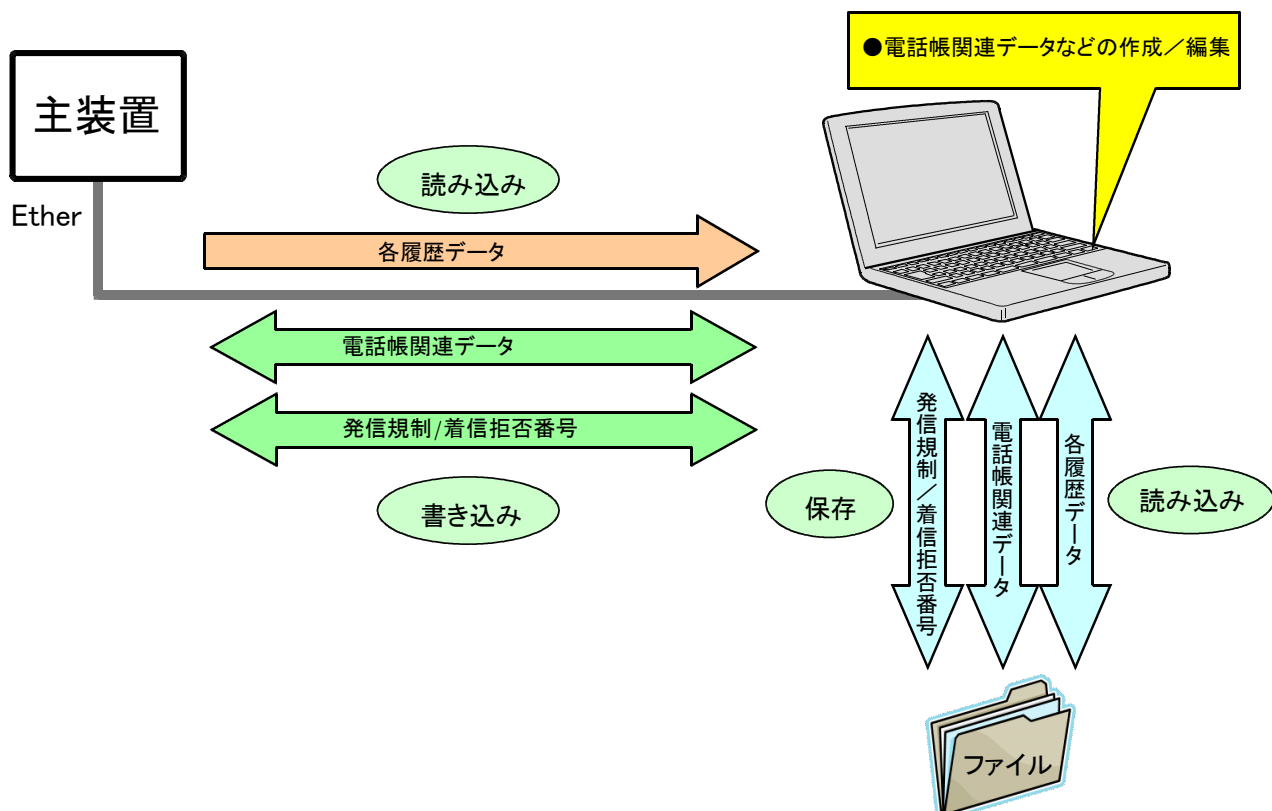
- ・電話帳データ(内線電話帳、外線グループ名、相手区分名、付加情報定型文、ワイヤレス呼出ボタン名称のデータも含む)
- ・発信規制番号
- ・着信拒否番号

#### ●パソコン上の各種データを主装置に書き込む

それぞれのデータは別々に書き込みます。書き込めるのは以下のデータです。

- ・電話帳データ(内線電話帳、外線グループ名、相手区分名、付加情報定型文、ワイヤレス呼出ボタン名称のデータも含む)
- ・発信規制番号
- ・着信拒否番号

\*: 主装置に接続しないで、各種データの作成、ファイルへの保存、ファイルからの読み込みができます。  
(事前にデータファイルを作成しておけます)

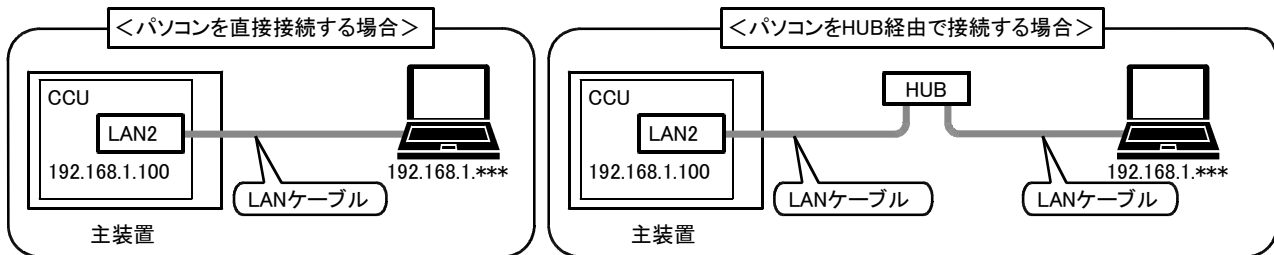


## 1-2 パソコンのハードウェア条件

- (1) OS: Windows<sup>®</sup> 10 日本語版 (32/64bit版対応)  
Windows<sup>®</sup> 11 日本語版
- (2) CPU: 各OSのシステム要件に準じる
- (3) 必要メモリ容量: 1GB以上 (32bit版OS)  
2GB以上 (64bit版OS)  
4GB以上 (Windows<sup>®</sup> 11)
- (4) ハードディスク容量: 120MB以上 (セットアップ時)
- (5) 画面サイズ: 1024×768ピクセル以上
- (6) ネットワーク: 100BASE-TX、ネットワークプロトコルとしてTCP/IPが動作するもの

## 1-3 接続方法

下図のように主装置にパソコンを接続します。



### ご注意

- 本プログラムは、Windowsのアカウントユーザーの種類を「管理者」に設定したパソコンでのみインストールおよび使用することができます。
- 主装置のIPアドレスの初期値は「192.168.1.100」になっています。主装置をLAN環境に接続する場合は、必要に応じてIPアドレスを変更してください。変更後は主装置の電源をOFF/ONしてください。  
⇒詳しくは、主装置の「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」のコマンド\*9400をご覧ください。
- お使いになれるブラウザは、以下のとおりです。  
「Microsoft Edge<sup>®</sup>」
- パソコンのIPアドレスを主装置のIPアドレスと同じセグメントに変更してください。  
例: 主装置が「192.168.1.100」の場合は「192.168.1.\*\*\*」を設定します(第3オクテットまで同一にする)。
- 「Microsoft Edge<sup>®</sup>」は下記の設定を行ってください。なお、「Microsoft Edge<sup>®</sup>」のバージョンによって設定項目等の表示内容、ボタン名、画面表示等が異なる場合があります(以降の説明も同様)。
  - ①画面右上の[⋮]([設定など(Alt+F)])をクリックし、メニューの「設定(S)」をクリックする
  - ②左側の設定メニューから「プライバシーとサービス」をクリックする
  - ③「閲覧データをクリア」の[ブラウザを閉じるたびにクリアするデータを選択する]をクリックする
  - ④「キャッシュされた画像とファイル」のトグルをオンにする

## ご注意

- パソコンの「ファイアウォール」は「有効」にしないでください。読み込みや書き込みが正常にできなくなります。
  - ① [スタート]を右クリックして[設定]⇒[更新とセキュリティ]⇒[Windowsセキュリティ]を選択し、[ファイアウォールとネットワーク保護]をクリックする
  - ② 『ファイアウォールとネットワーク保護 画面』の[詳細設定]をクリックする
  - ③ 『セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール 画面』の[プロパティ]をクリックし、[パブリック プロファイル]タブをクリックする  
(使用するネットワークの場所が「ホームネットワークまたは社内(プライベート)ネットワーク」の場合は[プライベート プロファイル]タブをクリックする)
  - ④ 「保護されているネットワーク接続」の横にある **カスタマイズ(S)** をクリックし、主装置につないでいる接続のチェックを外し、 **OK** をクリックする
- 本プログラムを使用するときは、ほかのアプリケーションプログラムを終了してください。パソコンのシステムリソースが不足して設定用画面(Web画面)が開けなくなる場合があります。「メモリー不足のため、サーバが起動しませんでした。」というエラー画面が出たときは、パソコンを再起動してから本プログラムを起動してください。

## 1-4 新規インストール

本プログラムをはじめてインストールする手順は下記のとおりです。

- ①入手したファイルを実行します。
- ②これ以降は、画面の指示に従ってください。

### ●標準インストール先

「C:¥Program Files¥XI\_TDCH1」フォルダ  
(64bit版OSの場合は、「C:¥Program Files (x86)¥XI\_TDCH1」フォルダ)

### ●プログラム名

「TDCHXIXXX.exe」  
※プログラム名の「XXXX」はバージョンを示します。

※プログラムをインストールすると、デスクトップにショートカットが作成されます。

### ●プログラムのバージョン確認方法

エクスプローラなどで、上記インストール先のフォルダにあるプログラムファイル(TDCHAP-XI.exe)を右クリックし、プロパティでバージョン情報を確認してください。

※プログラム起動後の『トップ画面』でもバージョンが確認できます。

★パソコンへのインストールは、管理者の権限で行う必要があります。ほかのユーザーでログインしてインストールすると、プログラムが正常に動作しません。

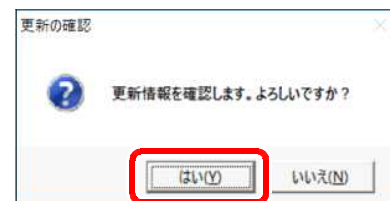
## 1-5 最新版のインストール

### (1) アップデート機能を使う

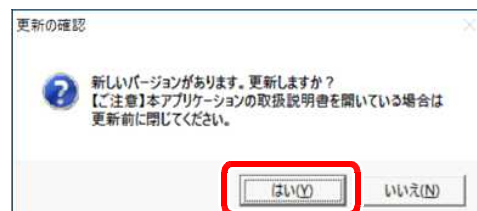
本プログラムには、インターネットを経由して行うアップデート機能があります。本機能を使うにはインターネットに接続しておく必要があります。最新版に更新する手順は下記のとおりです。

①『トップ画面』の **アップデート** をクリックします。

②『更新の確認 画面』が表示されるので、**はい(Y)** をクリックします。  
『確認中 画面』が表示されます。



③アップデート版がある場合は、『更新の確認 画面』が表示されるので、**はい(Y)** をクリックします。  
『ダウンロード 画面』が表示されます。本プログラムの取扱説明書を開いている場合は閉じてください。



④ダウンロードが完了すると、インストーラーが起動するので、(2)の②以降の手順に従って更新してください。  
※ダウンロードしたファイルは、「ダウンロード」フォルダに保存されます。

### (2) 入手したアップデートファイルを使う

アップデートファイルを使って最新版に更新する手順は下記のとおりです。

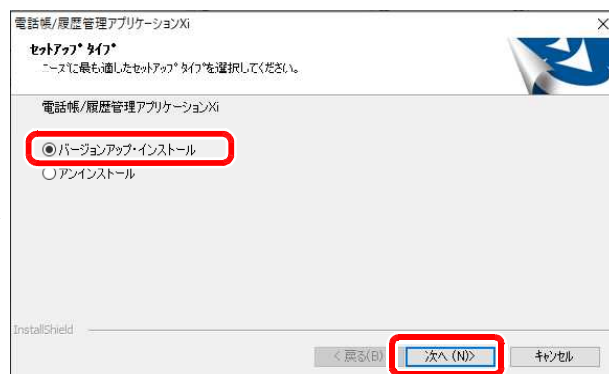
①入手したファイルを実行します。

②しばらくすると『セットアップタイプ 画面』となります。

「バージョンアップ・インストール」を選択し、**次へ(N)>** をクリックしてください。

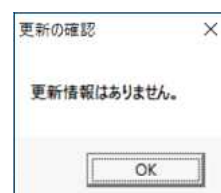
③これ以降は、画面の指示に従ってください。

※インストール先、プログラム名は古いバージョンと同じです。



### ご注意

- ★本プログラムは機能改善などのため、予告なく更新される場合があります。安定してご利用いただくために、最新版に更新してご利用ください。
- ★本プログラムをインストールする際に、ユーザーアカウント制御警告が表示される場合があります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認してから **はい(Y)** をクリックしてください。
- ★本プログラムをインストールする際は、セキュリティソフトを一時的に無効(または停止)にしてください。無効にする方法については、お使いのセキュリティソフトの説明書などをご覧ください。
- ★本プログラムをインストールする際に、「WindowsによってPCが保護されました」が表示される場合があります。表示された場合は、「詳細情報」をクリックし、「アプリ」の右側に表示されているファイル名がインストールしようとしているものと同じであることを確認してから **実行** をクリックしてください。
- ★アップデート版がない場合は、右の画面が表示されます。  
**OK** をクリックすると、『トップ画面』に戻ります。





## 1-6 アンインストール

本プログラムをパソコンから削除する手順は下記のとおりです。

①[スタート]を右クリックし、[設定]⇒[アプリと機能]を検索します。

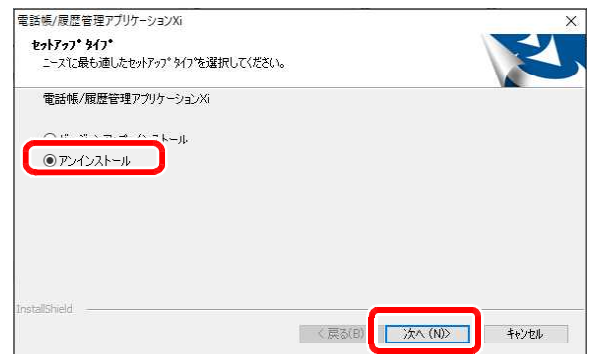
※[アプリと機能]が見つからない場合は、エクスプローラを開き、アドレスバーに  
"ms-settings:appsfeatures"と入力し **Enter** キーを押してください。

②本プログラムを選択し、**変更** または **アンインストール** をクリックします。

③しばらくすると『セットアップタイプ 画面』となります。

「アンインストール」を選択し、**次へ(N)>** をクリックしてください。

④これ以降は、画面の指示に従ってください。



### ご注意

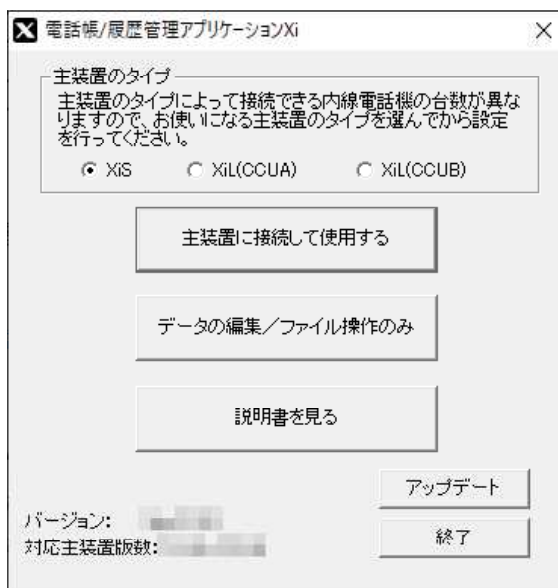
★本プログラムをアンインストールする際に、ユーザーアカウント制御警告が表示される場合があります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認してから **はい(Y)** をクリックしてください。

★本プログラムをアンインストールする際は、セキュリティソフトを一時的に無効(または停止)にしてください。無効にする方法については、お使いのセキュリティソフトの説明書などをご覧ください。

## 1-7 プログラムの起動

デスクトップ上にある、本プログラムのアイコンをダブルクリックしてください。

プログラムを起動すると『トップ画面』が表示されます。使用している主装置のタイプを選択し、各ボタンをクリックしてください。お客様が本プログラムをご使用の場合に主装置のタイプが分からないときは、特約店、販売店にお問い合わせください。

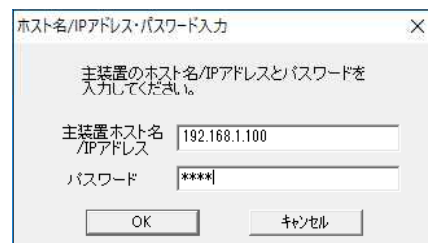


### ●各ボタンの説明

**主装置に接続して使用する** ……………主装置に接続して、電話帳関連データなどの読み込みや変更、書き込みを行うときなどに使用します。クリックすると、「ホスト名/IPアドレス・パスワード入力画面」が表示されるので、主装置のIPアドレス、パスワードを入力して **OK** をクリックしてください。

IPアドレスは、「192. 168. 1. 100」のようにドットを付けて入力してください。  
パスワードはWeb設定( \* W013)で設定したパスワードを入力してください。

※IPアドレスの初期値は192. 168. 1. 100、パスワードの初期値は0000です。  
※パスワードは半角数字を使用します。



**データの編集/ファイル操作のみ** ……主装置に接続しないで、電話帳関連データなどのファイルを作成、変更するときなどに使用します。主装置へのアクセス(データの書き込み、読み込み)はできません。

**説明書を見る** ……………本説明書を表示するときに使用します。表示するためにはパソコンにPDF閲覧ソフトがインストールされている必要があります。

**アップデート** ……………本プログラムをアップデートするときに使用します。

**終了** ……………プログラムを終了します。

※第2部以降の説明は、**主装置に接続して使用する** をクリックした場合を前提に説明しています。

**データの編集/ファイル操作のみ** をクリックした場合は、「トップメニュー画面」になります。

## 1-8 現在使用している主装置の電話帳関連データを変更するときの注意事項

現在使用している主装置の電話帳データや発信規制番号データなどを変更するときは、下記に注意してください。

### ご注意

★本プログラムで各種設定データ(電話帳関連データなど)を主装置に書き込むと、主装置内のデータは書き込んだデータに置き換わります。

お客様が変更、追加を行っている可能性がありますので、電話帳関連データや発信規制番号、着信拒否番号データを設定済みの主装置のデータを変更するときは、下記の手順で行うようにしてください。

- ①主装置から変更対象のデータを読み込む
- ②本プログラムを終了しないで、読み込んだデータを変更する  
必要に応じてファイルの保存を行ってください。  
★ファイルの読み込みは行わないでください。
- ③主装置に変更対象のデータを書き込む  
主装置に変更したデータを戻します。

## 1-9 Q&A集

No.	質 問	回 答
1	「接続に失敗しました」のメッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● * 9403の設定が「ポートクローズ」になっていませんか？(「ポートオープン」にする必要があります)</li> <li>※ * 9403の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、特約店、販売店にお問い合わせください。</li> <li>● パソコンのIPアドレスは、主装置のIPアドレスと同一のセグメント内にありますか？(同一セグメントにしてください)</li> <li>● パソコンセキュリティソフト(例: ウイルスバスターなど)が常駐していませんか？(セキュリティソフトを停止して実行してください)</li> <li>● パソコンの「ファイアウォール」が有効になっていませんか？(無効にしてください)</li> <li>● ほかのパソコンから同時にアクセスしていませんか？(アクセスするパソコンは1台にしてください)</li> </ul>
2	主装置からデータを読み込むと「受信データの読み込みに失敗しました」とエラーメッセージが出て読み込みできない。 また、設定を変更しようすると、「メモリ不足のため、サーバが起動できませんでした。」とエラーメッセージが表示され、設定画面も見ることができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パソコンのメモリが不足しています。パソコンのメモリを増設してください。または、ほかのアプリケーションを終了してください。</li> </ul>
3	主装置にデータを書き込めない。 データ通信実行中画面が表示された後、0%の状態 で「接続に失敗しました」のメッセージが表示される。 これを何回か繰り返すと、OKになる場合がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パソコンのLANドライバが古くありませんか？(最新のドライバに更新して、再度実施してください)</li> </ul>
4	設定中に画面の“登録”ボタンを押しても、入力データが画面に反映されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1-3章の「ご注意」に記載のブラウザに関する設定がされていますか？(設定を変更してください)</li> </ul>
5	主装置に電話帳関連データを書き込んだら、電話機の内線番号が消えてしまった。 または、内容が変更されてしまった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話帳関連データを書き込む前に電話帳関連データの読み込みを実施しましたか？ 電話帳関連データの書き込みを行う際には、必ず電話帳関連データを読み込んでから編集を行い、その後で書き込むようにしてください。 書き込む際は必要なデータに対するチェックボックスにだけチェックを入れるようにしてください。</li> </ul>
6	CSV形式で保存したファイルをExcel®で開いたら、電話番号の頭に「0」が付いていなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CSV形式のファイルをExcel®で読み込んだ場合、電話番号欄の頭の「0」は削除されます。この状態で保存してしまうと「0」は削除されたままとなります。ファイルを上書き保存しないように注意してください。 CSV形式のファイルの読み込み方法は、P2-13をご覧ください。</li> </ul>
7	説明書を開こうとすると、「保護モードでのAppContainerの非互換性」というダイアログが表示されて、説明書が開けない(Acrobat Readerをお使いの場合)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「AppContainerが保護モードで無効になっている場合にReaderを開く」を選択し、<b>OK</b>をクリックしてください。本アプリケーションを閉じた後に、Acrobat Readerを開いて、「編集」→「環境設定」を選択し、「分類」から「セキュリティ(拡張)」を選択します。「サンドボックスによる保護」セクションで「起動時に保護モードを有効にする」の選択を解除し、<b>OK</b>をクリックしてください。その後は画面の指示に従ってください。</li> </ul>

### 1. 本プログラムの操作の流れ

本プログラムは、以下の流れで操作してください。（参照ページは、各操作を記載している章の先頭ページを示しています。）

#### [1] 事前に電話帳データを作成する場合

- ①プログラムの起動 ⇒P1-7
- ②「データの編集／ファイル操作のみ」を選択⇒P1-7
- ③PCでの設定、ファイルに保存 ⇒P2-4
  - 各種データファイル

#### [2] 新規に電話帳データを設定する場合 （事前作成ファイルなし）

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P1-7
- ③「主装置に接続して使用する」を選択⇒P1-7
- ④PCで編集、ファイルに保存 ⇒P2-4
  - 各種データファイル
- ⑤主装置にデータを書き込み ⇒P2-14

#### [3] 新規に電話帳データを設定する場合 （事前作成ファイルあり）

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
  - ②プログラムの起動 ⇒P1-7
  - ③「主装置に接続して使用する」を選択⇒P1-7
  - ④ファイルの読み込み ⇒P2-4
    - 各種データファイル
  - ⑤主装置にデータを書き込み ⇒P2-14
- ※読み込んだ内容を変更するときは、④の後で実施し、ファイルに保存してください。

#### [4] 主装置の電話帳データをパソコンで読み込み、保存しておく場合

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P1-7
- ③「主装置に接続して使用する」を選択⇒P1-7
- ④主装置からデータを読み込み ⇒P2-2
- ⑤ファイルに保存 ⇒P2-4
  - 各種データファイル

#### [5] 主装置の電話帳データを変更する場合

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P1-7
- ③「主装置に接続して使用する」を選択⇒P1-7
- ④主装置からデータを読み込み ⇒P2-2
  - ★必ず実行してください。**
- ⑤PCでの変更\*1、ファイルに保存 ⇒P2-4
  - 各種データファイル
- ⑥主装置にデータを書き込み ⇒P2-14

\*1: 主装置から読み込んだ電話帳データを変更します。

## 2. 電話帳関連データの読み込み

主装置側の電話帳関連データをパソコンに読み込みます。

※電話帳、内線電話帳、外線グループ名、相手区分名、付加情報定型文、ワイヤレス呼出ボタン名称をまとめて読み込みます。

●**事前確認**（主装置の「工事・保守マニュアル」をご覧ください。）

(1) 主装置とパソコンは接続されているか？

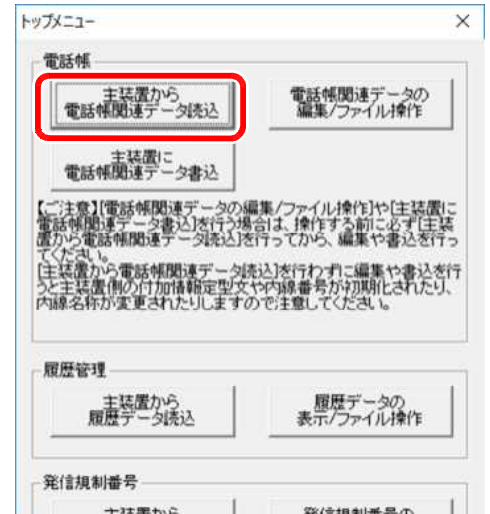
(2) 主装置側のデータ設定アプリ用ポート設定はポートオープンになっているか？（\*9403）

(3) 主装置のIPアドレス（\*9400）を変更した場合、主装置の電源のOFF/ONを行ったか？

※\*9400、\*9403の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、特約店、販売店にお問い合わせください。

### 1 『トップメニュー画面』で **主装置から電話帳関連データ読込** をクリックする

電話帳、内線電話帳、外線グループ名、相手区分名、付加情報定型文、ワイヤレス呼出ボタン名称を同時に読み込みます。

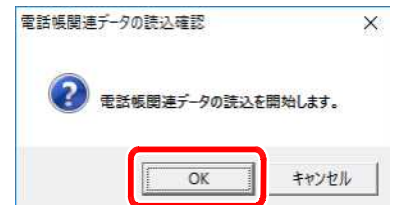


### 2 『電話帳関連データの読込確認画面』が表示されるので、**OK** をクリックする

★中断できないので注意してください。

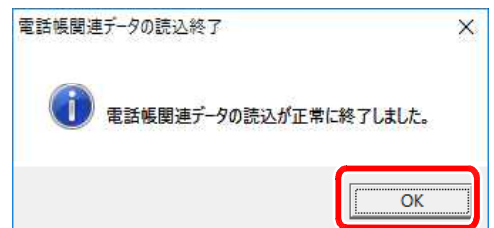
※**キャンセル** をクリックすると、『トップメニュー画面』に戻ります。

※読み込みを開始すると、『データ通信実行中画面』が表示され、進行状況が表示されます。



### 3 読み込みが完了すると『電話帳関連データの読込終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする

『トップメニュー画面』に戻ります。



## ご注意

★読み込み中は、ほかのアプリケーションを使用しないでください。通信エラーが発生することがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中に読み込んだデータを主装置に書き込むと、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

★読み込み中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーが発生することがあります。通信エラーが発生したときは、読み込みをやり直してください。また、電話機側で電話帳の登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。

※上記以外の場合でもエラーが発生することがあります。

### ●エラーが発生したときは…

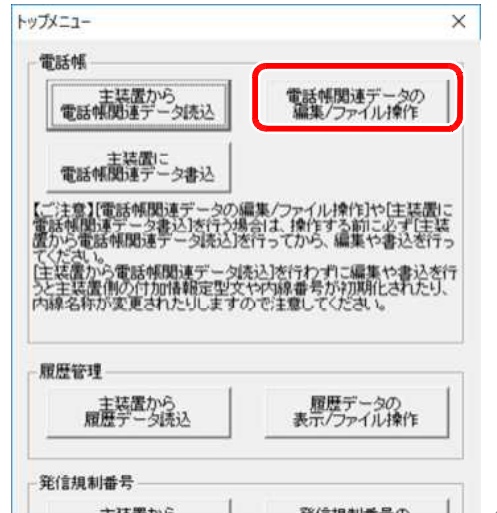
エラー画面の **OK** をクリックし、手順1からやり直してください。

◆パソコンのスペック不足やメモリの空きが少ないとエラーが発生しやすくなります。ほかのアプリケーションを終了したり、ディスプレイの色数を減らしたりすると改善できる場合があります。

### 3. 電話帳関連データの編集

パソコンで電話帳関連データを編集したり、ファイルに保存したりします。

#### 1 『トップメニュー画面』で **電話帳関連データの編集/ファイル操作** をクリックする



#### 2 『電話帳関連メニュー画面』となる

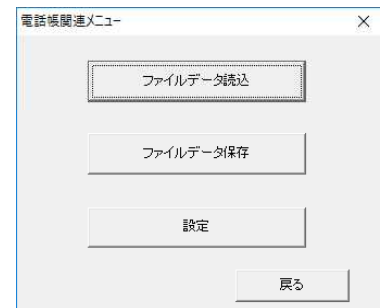
##### ●各ボタンの説明

**ファイルデータ読込** … 保存してある電話帳関連データのファイルを読み込みます。

**ファイルデータ保存** … パソコン上にある電話帳関連データをファイルに保存します。  
⇒ P2-7

**設定** … パソコン上で電話帳関連データを編集します。

**戻る** … 『トップメニュー画面』に戻ります。

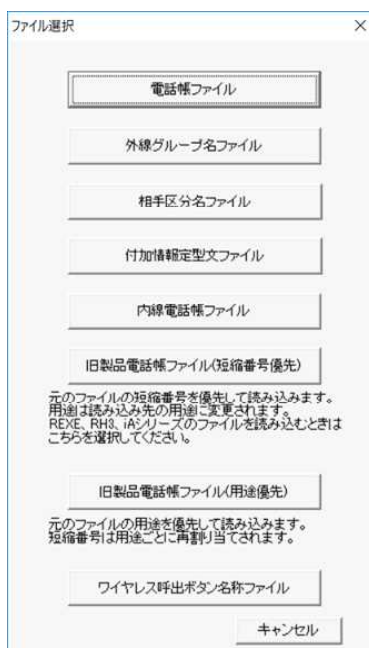


##### ●作成済みの電話帳関連データファイルを修正するときは、「設定」を行う前に「ファイルデータ読込」を行ってください。

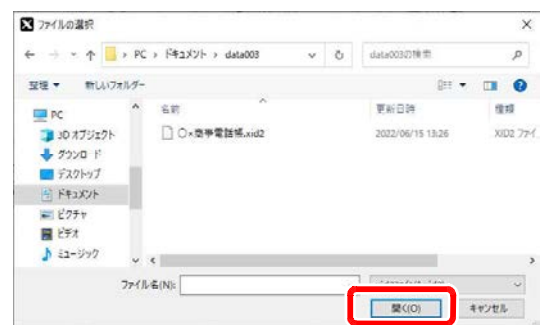
★主装置から読み込んだ電話帳関連データを変更する場合は、この手順は実行しないでください。

#### ①『電話帳関連メニュー画面』で **ファイルデータ読込** をクリックする

#### ②『ファイル選択画面』で読み込むファイルの種類を選択する



#### ③読み込みたいファイルを選択して **開く(O)** をクリックするか、読み込みたいファイルをダブルクリックする



※CSVファイルの読み込みもできます。プルダウンメニューで「csvファイル(\*.csv)」を選び、ファイルを選択してください。

CSVファイルに関しては、P2-9をご覧ください。



『電話帳関連メニュー画面』で **設定** をクリックすると、設定用の画面が表示される

画面左上のフレームで「電話帳データ」を選択し、左下のフレームで「短縮番号の範囲」を選択してください。

表示されたページの入力(変更)が終わったら、画面一番下の **登録** をクリックしてください。

●現在の設定内容(主装置から読み込んだときは主装置側の設定内容、ファイルを読み込んだときはファイルに保存していた設定内容)が表示されます。

●下記のサンプル画面は説明用です。実際の表示内容とは異なる場合があります。

■各項目には次の内容を入力してください。

●名前: 相手名称を入力します。全角10文字(半角20文字)まで

●ヨミガナ: ヨミガナを入力します。半角20文字まで

●電話番号: 電話番号を入力します。半角数字または記号(\*、#、P、M、-)24文字まで

★複数の短縮番号に同じ電話番号が入力されている場合、**登録** をクリックすると「短縮番号〇〇〇〇番と△△△番が重複して登録されています。」というエラー画面が表示されますが、エラー画面の **OK** をクリックすると、重複していてもそれらは短縮番号に登録されます。電話番号を重複して登録する必要がない場合は、どちらかの短縮番号を削除し再登録してください。

●用途欄の値が同じ場合のみ電話番号の重複チェックを行います。

※電話番号、外線グループ番号、番号種別は、3つまで登録できます。

●番号種別: 番号種別を選択します。(プルダウン表示される候補を選択します)

指定なし、代表番号、携帯電話、ダイヤルイン、FAX

●相手区分: 相手区分番号01~30を選択します。(プルダウン表示される候補を選択します)

●外線グループ番号: 0(指定なし)もしくは外線グループ番号1~16を選択します。(プルダウン表示される候補を選択します)

●マイ電話帳登録電話機: マイ電話帳の対象となる内線の収容位置を入力します。

●表示モード: 付加情報の表示内容を選択します。(プルダウン表示される候補を選択します)

付加情報なし: 何も表示しません。

電話帳詳細: 電話帳の詳細情報を表示します。

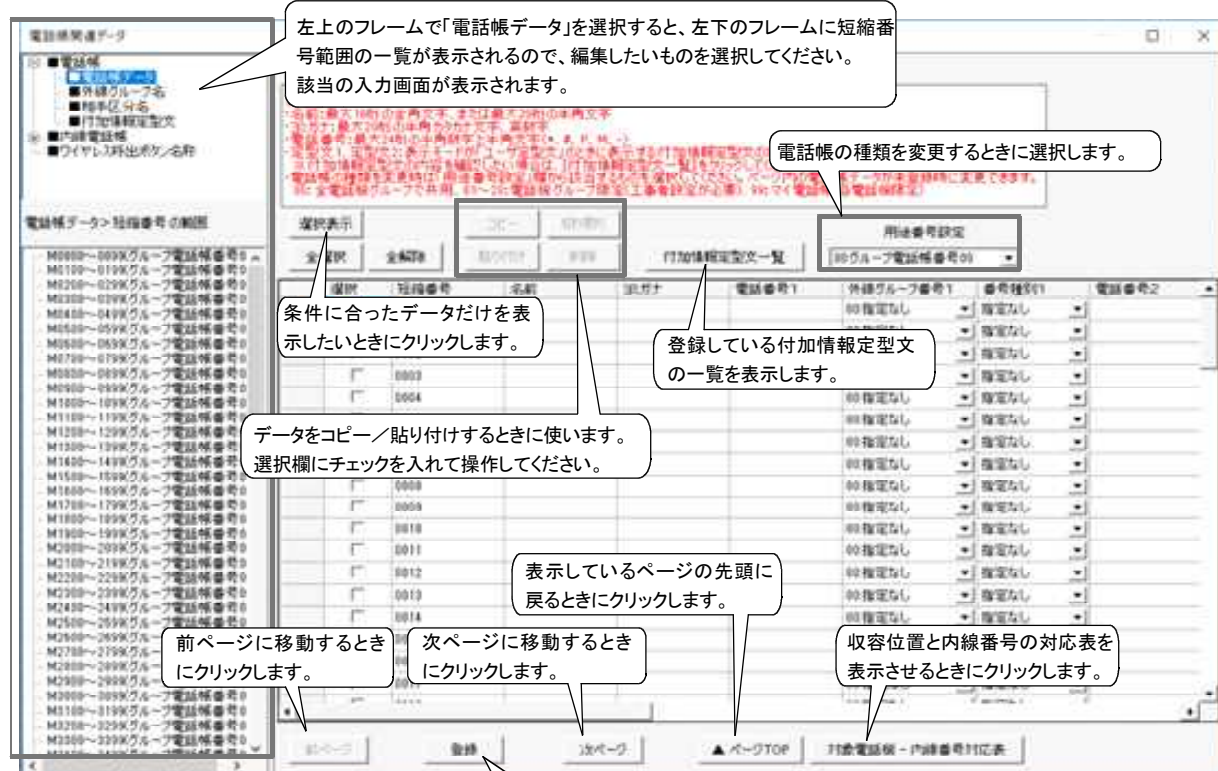
前着信履歴: 前回、着信したときの日時を表示します。 ユーザ定型文: ユーザが設定した定型文を表示します。

●定型文1, 2: 表示モードを「ユーザ定型文」にしたときに、表示される定型文の番号を指定します。

電話帳の種類を変更するときは、データを登録する前に用途番号設定欄から該当するものを選んでください。

(ページ内にデータが登録されていない場合に変更できます)

全電話機グループで共用: 「00」 電話機グループ内で使用: 「01~20」 マイ電話帳: 「99」



現在表示しているページの設定内容を登録します。

【注】設定内容を登録するときは、別のページに移動する前に必ずクリックしてください。

クリックをしないと、変更した内容は登録されません。



**4** 引き続き、その他の設定(「内線電話帳」など)を行う(必要時)  
画面左上のフレームで編集したい各項目をクリックしてください。項目によっては左下のフレームにページリストが表示されます。ページリストが表示されたときは、さらに編集したいページを選択し、各項目を入力(変更)してください。表示しているページの入力(変更)が完了したら、画面一番下の **登録** をクリックしてください。

- 現在の設定内容(主装置から読み込んだときは主装置側の設定内容、ファイルを読み込んだときはファイルに保存していた設定内容)が表示されます。
- 内線一般着信用の設定は「機能番号001～096(仮想内線番号)」を選択してください。

■各項目の入力文字数などの制限は下記のとおりです。

- 内線名称: 内線相手名称を入力します。全角10文字(半角20文字)まで
- ヨミガナ: ヨミガナを入力します。半角20文字まで
- 外線グループ名: 外線グループ名を入力します。全角6文字(半角12文字)まで
- 相手区分名: 相手区分名を入力します。全角7文字(半角14文字)まで
- 付加情報定型文: 表示させたい内容を入力します。全角10文字(半角20文字)まで
- ワイヤレス呼出ボタン名称: ワイヤレス呼出ボタン名称を入力します。全角4文字(半角8文字)まで

※[Tab]キーで各入力項目を移動できます。

画面は内線電話帳を表示しているとき

左上のフレームで項目を選択します。項目によっては左下のフレームにページリストが表示されるので、編集したいものを選択してください。該当の入力画面が表示されます。

データをコピー／貼り付けするときに使います。選択欄にチェックを入れて操作してください。

表示しているページの先頭に戻るときにクリックします。

前ページに移動するときをクリックします。

次ページに移動するときをクリックします。

収容位置と内線番号の対応表を表示させるときにクリックします。

現在表示しているページの設定内容を登録します。  
【注】設定内容を登録するときは、別のページに移動する前に必ずクリックしてください。  
クリックをしないと、変更した内容は登録されません。

**5** すべての設定が終了したら設定用の画面を終了する  
※画面を閉じてても設定内容は消えません。

**コピーペースト機能について**

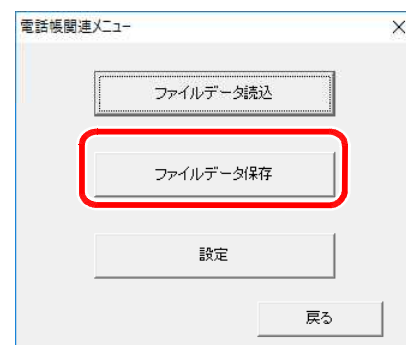
設定したデータをコピーすることができます。下記の手順でコピーします。

- ① コピー元の「選択欄」にチェックを入れ、**コピー**をクリックする
- ② コピー先の「選択欄」にチェックを入れ、**貼り付け**をクリックする  
(**貼り付け** がグレイアウトされているときは貼り付けできません)

※ **削除** ...チェックのついた行のデータを削除します。 **切り取り** ...別の行に移動するときに使います。

6

『電話帳関連メニュー画面』で **ファイルデータ保存** をクリックする



7

『ファイル選択画面』で保存するファイルの種類を選択する

#### ●各ボタンの説明

**電話帳ファイル** … 電話帳の内容をファイルに保存します。

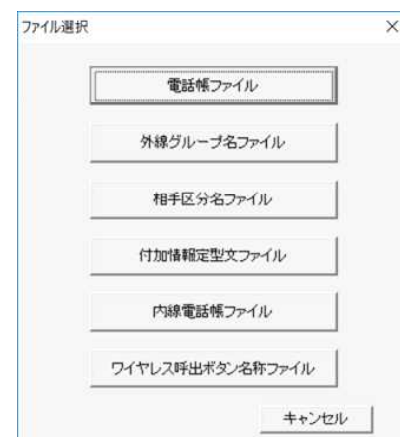
**外線グループ名ファイル** … 外線グループ名の内容をファイルに保存します。

**相手区分名ファイル** … 相手区分名の内容をファイルに保存します。

**付加情報定型文ファイル** … 付加情報定型文の内容をファイルに保存します。

**内線電話帳ファイル** … 内線電話帳の内容をファイルに保存します。

**ワイヤレス呼出ボタン名称ファイル** … ワイヤレス呼出ボタン名称の内容をファイルに保存します。



8

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする

現在パソコン上にあるデータがファイルに保存されます。

※ファイルの拡張子は以下になります。

電話帳 : xid2

外線グループ名 : xid3

相手区分名 : xid4

付加情報定型文 : xid5

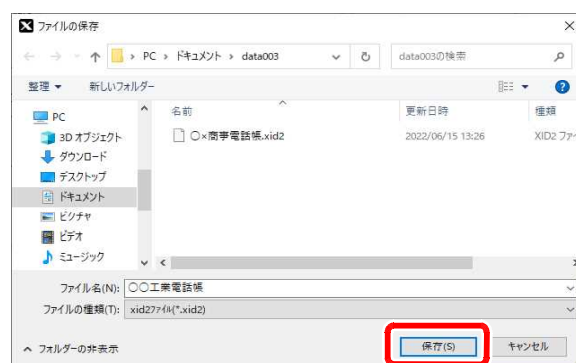
内線電話帳 : xid6

ワイヤレス呼出ボタン名称 : xida

※CSVファイルの保存もできます。

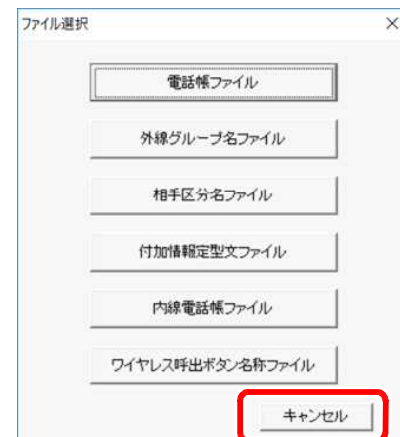
「ファイルの種類(T)」で「csvファイル(\*.csv)」を選択します。

CSVファイルに関しては、P2-9をご覧ください。



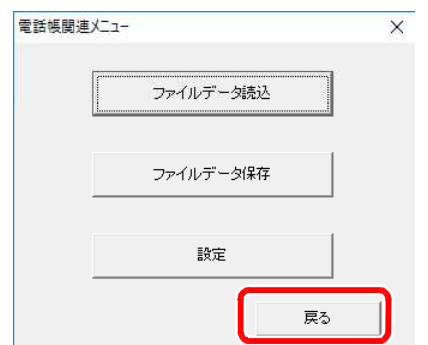
9

『ファイル選択画面』に戻るので、終了するときは **キャンセル** をクリックする



『電話帳関連メニュー画面』で **戻る** をクリックする

『トップメニュー画面』に戻ります。



## 旧シリーズの電話帳データを読み込むには...

旧シリーズ(REXE、RH3、iA、iE、iF、Si シリーズ)の電話帳データファイルを読み込むことができます。

手順2の『ファイル選択画面』で、**旧製品電話帳ファイル(短縮番号優先)** または **旧製品電話帳ファイル(用途優先)** をクリックしてファイルを読み込んでください。

ただしマイ電話帳を読み込むことはできません。マイ電話帳は旧シリーズで読み出したCSVファイルを編集してから読み込んでください。⇒P2-9

短縮番号優先 : 元のファイルの短縮番号を優先して読み込みます。用途は読み込み先の用途に変更されます。

REXE、RH3、iAシリーズのファイルを読み込むときはこちらを選択してください。

用途優先 : 元のファイルの用途を優先して読み込みます。短縮番号は用途ごとに再割り当てされます。

## ●Excel®を使用して電話帳関連データを作成、編集する

Excel® を使用して、電話帳、内線電話帳データなどを作成したり、編集したりする場合は、CSV形式のファイルを使用します。

### (1)Excel®で電話帳関連ファイルを作成する

Excel® を使用して電話帳データを作成し、CSV形式で保存すると、本プログラムでそのファイルを読み込むことができます。※Excel® の使用法はExcel® の説明書をご覧ください。

下記の手順に従って作成してください。

#### ①下記に示すフォーマットで一覧を作成する。

(すべてのセルの書式を「文字列」に設定してから作成してください。)

#### ■電話帳データ

必ず0000を入力 →

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	短縮番号	名前	ヨミガナ	電話番号1	外線グループ番号1	番号種別1	電話番号2	外線グループ番号2	番号種別2	電話番号3
2	0000	東京本社	トウキョウホンシャ	031234XXXX	01	1	031234XXXX	02	3	
3	0001	大阪支社	オオサカシヤ	061234XXXX	01	1		00	0	
4	0002	名古屋支店	ナゴヤテン	052123XXXX	01	1		00	0	
5	0003	鈴木携帯	スズキケイタイ	090111XXXX	02	1		00	0	
6	0004	斉藤携帯	サイトウケイタイ	090222XXXX	02	1		00	0	
7	0005	佐藤携帯	サトウケイタイ	090333XXXX	02	1		00	0	
8	0006	青×商事	アヲ◯ショウジ	045123XXXX	04	2		00	0	
9	0007	佐々木	ササキ	045123XXXX	04	2		00	0	
10	0008	中島携帯	ナカジマケイタイ	090444XXXX	04	2		00	0	

●1行目:「短縮番号」、「名前」、「ヨミガナ」、「電話番号1」、「外線グループ番号1」、「番号種別1」、「電話番号2」、「外線グループ番号2」、「番号種別2」、「電話番号3」、「外線グループ番号3」、「番号種別3」、「相手区分」、「マイ電話帳登録電話機」、「表示モード」、「定型文1」、「定型文2」という文字列(すべて全角)を上記の順番どおりに入力します。

●短縮番号: 0000から始まる連番(4桁)を半角数字で入力します。

短縮番号は必要なものだけを入力してください(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の0000は必ず入力してください。

●名前: 相手の名前をスペースは入れずに入力します。全角10文字(半角20文字)まで。

●ヨミガナ: 電話帳検索で使用するカナ名称をスペースは入れずに入力します。半角20文字まで。

●電話番号1~3: 電話番号を入力します。半角数字または記号(\*、#、P、M、-)24文字まで。

●外線グループ番号1~3: 外線グループ番号(00:指定なし、01~16外線グループ番号)を半角数字で入力します。

●番号種別1~3: 番号種別(0:指定なし、1:代表番号、2:携帯電話、3:ダイヤルイン、4:FAX)を半角数字で入力します。

●相手区分: 相手区分(01~30:相手区分を表す番号)を半角数字で入力します。

●マイ電話帳登録電話機: マイ電話帳に登録する場合には、対象となる内線の収容位置を半角数字で入力します。共通電話帳の場合は0を入力します。

●表示モード: 付加情報の表示内容を半角数字で入力します。

0(付加情報なし): 何も表示しません。

2(前着信履歴): 前回、着信したときの日時を表示します。

1(電話帳詳細): 電話帳の詳細情報を表示します。

3(ユーザ定型文): ユーザが設定した定型文を表示します。

●定型文1, 2: 表示モードを「ユーザ定型文」にしたときに、表示される定型文の番号を入力します。000を入力すると何も表示しません。

★名前・ヨミガナに半角の「/」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。

★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください(住所データなど)。

★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。すでに作成済みの電話番号一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。

★各項目の入力データが指定文字数を超過している場合、超過している部分は本プログラムで取得できませんので注意してください。

★マイ電話帳に登録するときは、以下のように値を入力してください。

番号種別1~3 : 0 相手区分 : 01

表示モード : 0 定型文1, 2 : 000

## ■内線電話帳データ

必ず101を入力 →

	A	B	C	D
1	収容位置	内線番号	内線名称	ヨミガナ
2	101	101	高橋	タカハシ
3	102	102	佐藤	サトウ
4	103	103	青木	アオキ
5	104	104	田中	タナカ
6	105	105	庄司	ショウジ
7	106	106	木村	キムラ
8	107	107	伊藤	イトウ

- 1行目: 「収容位置」、「内線番号」、「内線名称」、「ヨミガナ」という文字列(すべて全角)を上記の順番どおりに入力します。
- 収容位置: 101から始まる連番(3桁)を半角数字で入力します。  
収容位置は必要なものだけ入力してください。(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の101は必ず入力してください。
- 内線番号: 内線番号を入力します。半角数字1~4桁(入力桁数は\*0080の設定に従ってください)。  
\*0080の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、使用できる内線番号を特約店、販売店にお問い合わせください。
- 内線名称: 内線名称をスペースは入れずに入力します。全角10文字(半角20文字)まで。
- ヨミガナ: 電話帳検索で使用するカナ名称をスペースは入れずに入力します。半角20文字まで。
- ★内線名称・ヨミガナに半角の「/」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。
- ★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください。
- ★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。すでに作成済みの内線番号一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。
- ★各項目の入力データが指定文字数を超えている場合、超えている部分は本プログラムで取得できませんので注意してください。
- ★内線番号は必ず\*0080で設定した桁数で入力してください。設定と異なる桁数で入力したり、桁数の異なる内線番号を混在させたりしないでください。また、同じ内線番号を複数入力しないでください。

## ■外線グループ名

必ず01を入力 →

	A	B	C	D
1	外線グループ	外線グループ名		
2	01	NTT回線		
3	02	ソフトバンク		
4	03	ドコモ		
5	04	au		
6	05	IP回線		
7	06			

- 1行目: 「外線グループ」、「外線グループ名」という文字列(すべて全角)を上記の順番どおりに入力します。
- 外線グループ: 01から16までの番号を半角数字で入力します。  
外線グループは必要なものだけ入力してください。(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の01は必ず入力してください。
- 外線グループ名: 外線グループ名をスペースは入れずに入力します。全角6文字(半角12文字)まで。
- ★外線グループ名に半角の「/」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。
- ★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください。
- ★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。すでに作成済みの外線グループ一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。
- ★各項目の入力データが指定文字数を超えている場合、超えている部分は本プログラムで取得できませんので注意してください。

## ■相手区分名

必ず01を入力 →

	A	B	C	D
1	相手区分	相手区分名		
2	01	得意先		
3	02	社外		
4	03	営業所		
5	04	社員		
6	05			

●1行目:「相手区分」、「相手区分名」という文字列(すべて全角)を上記の順番どおりに入力します。

●相手区分: 01から30までの番号を半角数字で入力します。

相手区分は必要なものだけ入力してください。(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の01は必ず入力してください。

●相手区分名: 相手区分名をスペースは入れずに入力します。全角7文字(半角14文字)まで。

★相手区分名に半角の「/」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。

★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください。

★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。すでに作成済みの相手区分一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。

★各項目の入力データが指定文字数を超過している場合、超過している部分は本プログラムで取得できませんので注意してください。

## ■付加情報定型文

必ず001を入力 →

	A	B	
1	項番	付加情報定型文	
2	001	月曜日は定休日	
3	002	携帯電話	
4	003	緊急用	
5	004	お客様	
6	005		
7	006		

●1行目:「項番」、「付加情報定型文」という文字列(すべて全角)を上記の順番どおりに入力します。

●項番: 001からの連番(3桁)を半角数字で入力します。

項番は必要なものだけ入力してください。(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の001は必ず入力してください。

●付加情報定型文: 表示させたい内容を入力します。全角10文字(半角20文字)まで。

★付加情報定型文に半角の「/」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。

★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください。

★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。すでに作成済みの付加情報定型一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。

★各項目の入力データが指定文字数を超過している場合、超過している部分は本プログラムで取得できませんので注意してください。

★同じ項番を複数入力しないでください。



## ■ワイヤレス呼出ボタン名称

必ず101を  
入力 →

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	収容位置	ボタンA名称	ボタンB名称	ボタンC名称	ボタンD名称	ボタンE名称	ボタンF名称	ボタンG名称	ボタンH名称
2	101	洗面所	トイレ						
3	102	1 番目	2 番目	3 番目					
4	103	ひまわり	あさがお	すみれ					
5									

- 1行目: 「収容位置」、「ボタンA名称」、「ボタンB名称」・・・「ボタンH名称」という文字列を、上記の順番どおりに入力します。
- 収容位置: 101から始まる連番(3桁)を半角数字で入力します。  
収容位置は必要なものだけを入力してください(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の101は必ず入力してください。
- ボタンA～H名称: ボタン名称を入力します。(全角4文字、半角8文字まで)

### ②作成が終わったら、CSV形式で保存する。

※CSV形式のほか、Excel®の通常の形式でもファイルに保存しておくことをおすすめします。

CSV形式のファイルをExcel®に読み込んだ場合、各セルの先頭の「0」が削除されますので、別途編集作業を行う場合は通常の形式で保存したファイルを利用した方が便利です。

### ③P2-4の手順2の「ファイルデータ読込」で、②で保存したCSV形式ファイルを読み込んでください。

※CSV形式のファイルを読み込んだ後に、詳細画面で正常にデータが表示されていることを確認してください。  
(電話番号の先頭に「0」が入っていることを確認してください)

## (2) 本プログラムで保存したCSV形式のファイルを編集する

本プログラムで作成した電話帳関連データは、CSV形式でファイルを保存できます。後からExcel® を使用してこれらのデータを編集することができます。

Excel® でCSVファイルを開いたり、エクスプローラでCSV形式のファイルをダブルクリックして開くと、電話番号欄の先頭の「0」が削除されてしまい、編集ができなくなります。下記の方法で読み込んでから編集してください。

※Excel® のバージョンによって、表示内容が異なることがあります。

### ①エクスプローラなどで、読み込みたいCSVファイルの拡張子を「txt」に変更する。

(例:「〇×商事電話帳.csv」を、「〇×商事電話帳.txt」に変更する。)

### ②Excel® を起動し、①で作成したファイルを開く。(必ず、Excel® の操作でファイルを開いてください。)



操作2: ①で作成したtxtファイルを選択し、ダブルクリックまたは「開く」を押す

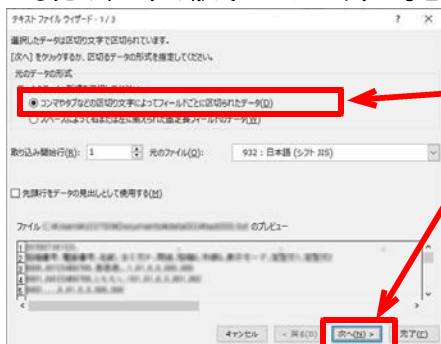
操作1: すべてのファイル(\*.\*)に変更する

### ③画面の指示に従って、操作する。

※以下の画面が表示されないときは、Excel® のオプション設定を変更して②からやり直してください。

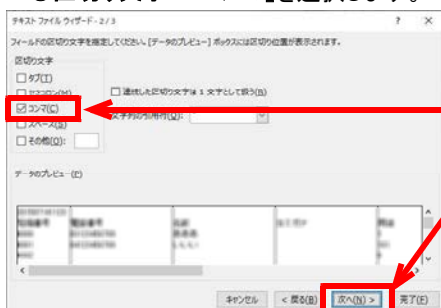
オプションの「データ」タブを開き、「レガシ データ インポート ウィザードの表示」オプションで「テキストから(レガシ)(T)」にチェックを付けて「OK」をクリックします。

●元のデータの形式: 「コンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」を選択します。



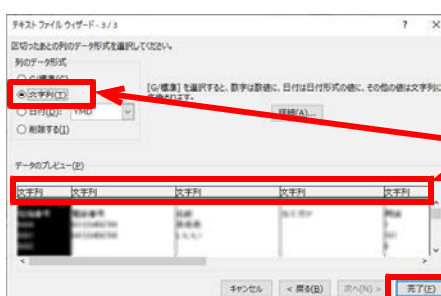
「コンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ(D)」を選択し、「次へ(N)」をクリックする

●区切り文字: 「コンマ」を選択します。



「コンマ(C)」にのみチェックを入れて、「次へ(N)」をクリックする

●列のデータ形式: すべての列のデータ形式を「文字列」(テキスト)にします。



すべての列のデータ形式を「文字列」(テキスト)に変更し、「完了(F)」をクリックする

### ④ 完了(F) をクリックし、ファイルが開いたら(1)に従って編集作業を行う。

★編集を行う前に、1行目(12桁の数字が記載されている行)は必ず削除してください。(1)で示したフォーマットのみ本プログラムで読み込むことができます。



## 4. 電話帳関連データの書き込み

パソコンで編集したり保存したりしている電話帳関連データを主装置に書き込みます。

※書き込みたいデータを選んで書き込みできます。

●事前確認（主装置の「工事・保守マニュアル」をご覧ください。）

- (1) 主装置とパソコンは接続されているか？
- (2) 主装置側のデータ設定アプリ用ポート設定はポートオープンになっているか？（\*9403）
- (3) 主装置のIPアドレス（\*9400）を変更した場合、主装置の電源のOFF/ONを行ったか？

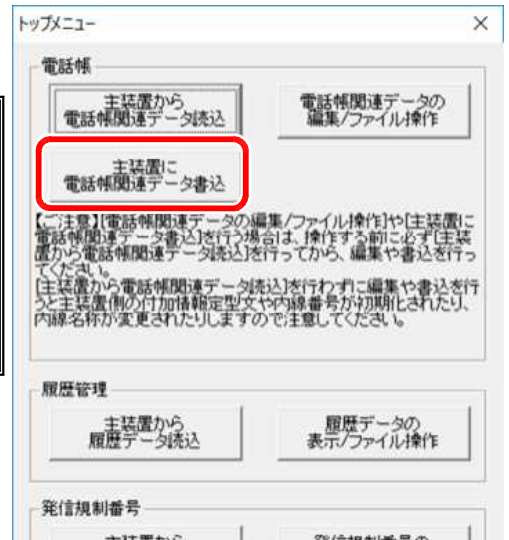
※\*9400、\*9403の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、特約店、販売店にお問い合わせください。

1

『トップメニュー画面』で **主装置に電話帳関連データ書込** をクリックする

★電話帳データが設定済みの主装置に、パソコン上にある電話帳データを書き込むと、主装置側のデータは上書きされます。必ず最初に主装置からデータを読み込んでください。

- ① 主装置からデータを読み込む ⇒ P2-2
- ② 主装置から読み込んだデータを修正する。⇒ P2-4  
※「ファイルデータ読込」は行わないでください。
- ③ 主装置にデータを書き込む（必要なもの）

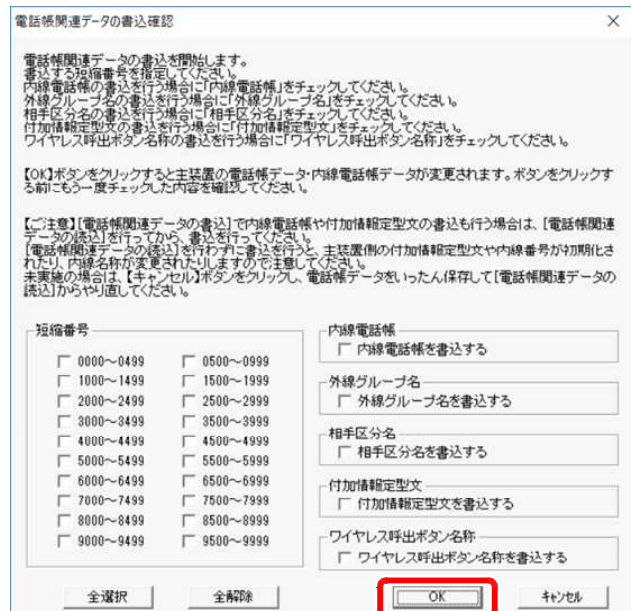


2

『電話帳関連データの書込確認画面』となるので、書き込みたいデータ（短縮番号や内線電話帳など）のチェックボックスだけにチェックを入れてから、**OK** をクリックする

★中断できないので注意してください。

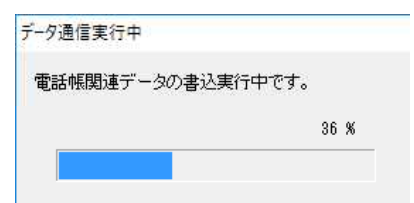
※**キャンセル** をクリックすると、『トップメニュー画面』に戻ります。



3

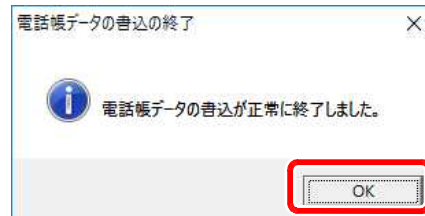
『データ通信実行中画面』が表示される

※インジケータに進行状況が表示されます。



書き込みが完了すると『電話帳データの書込の終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする

『トップメニュー画面』に戻ります。



### ご注意

★書き込み中は、ほかのアプリケーションを使用しないでください。通信エラーが発生することがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中に書き込みすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

★書き込み中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーが発生することがあります。通信エラーが発生したときは、書き込みをやり直してください。また、電話機側で電話帳の登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。

※上記以外の場合でもエラーが発生することがあります。

#### ●エラーが発生したときは…

エラー画面の **OK** をクリックし、手順1からやり直してください。

◆パソコンのスペック不足やメモリの空きが少ないとエラーが発生しやすくなります。ほかのアプリケーションを終了したり、ディスプレイの色数を減らしたりすると改善できる場合があります。

★電話機で電話帳を使用しているときに、本プログラムで電話帳データを書き込んだ場合、電話機で表示している番号とは異なる番号に発信したり、発信そのものがないことがあります。電話帳データを書き込む場合は、なるべく電話機で電話帳を操作していないときに行ってください。

電話機で内線電話帳を使用しているときも同様です。内線発信後に表示される内線名称が内線電話帳の検索時と異なった表示となる場合があります。

### 1. 本プログラムの操作の流れ

本プログラムは、以下の流れで操作してください。（参照ページは、各操作を記載している章の先頭ページを示しています。）

#### [1] 主装置の履歴データをパソコンで読み込み、保存しておく場合

- ① 主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ② プログラムの起動 ⇒P1-7
- ③ 「主装置に接続して使用する」を選択⇒P1-7
- ④ 主装置から履歴データを読み込み ⇒P3-2
- ⑤ ファイルに保存 ⇒P3-4

#### [2] 保存した履歴データを読み込む場合

- ① プログラムの起動 ⇒P1-7
- ② 保存した履歴データの確認 ⇒P3-7

## 2. 履歴データの読み込み

主装置側の履歴データをパソコンで読み込みます。

### ●事前確認（主装置の「工事・保守マニュアル」をご覧ください。）

- (1) 主装置とパソコンは接続されているか？
- (2) 主装置側のデータ設定アプリ用ポート設定はポートオープンになっているか？（\*9403）
- (3) 主装置のIPアドレス（\*9400）を変更した場合、主装置の電源のOFF／ONを行ったか？

※ \*9400、\*9403の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、特約店、販売店にお問い合わせください。

### 1 『トップメニュー画面』で **主装置から履歴データ読込** をクリックする

内線着信履歴、外線着信履歴、外線発信履歴を同時に読み込みます。

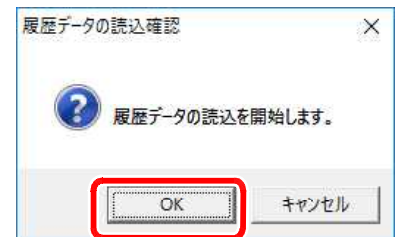


### 2 『履歴データの読込確認画面』となるので、**OK** をクリックする

★中断できないので注意してください。

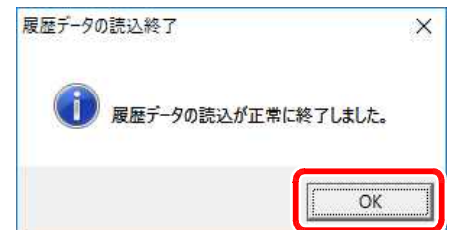
※ **キャンセル** をクリックすると、『トップメニュー画面』に戻ります。

※読み込みを開始すると、『データ通信実行中画面』が表示され、インジケータに進行状況が表示されます。



### 3 読み込みが完了すると『履歴データの読込の終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする

『トップメニュー画面』に戻ります。



### ご注意

★読み込み中は、ほかのアプリケーションを使用しないでください。通信エラーが発生することがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中に読み込みんだデータは内容が壊れている可能性があります。)

★読み込み中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーが発生することがあります。通信エラーが発生したときは、読み込みをやり直してください。

※上記以外の場合でもエラーが発生することがあります。

●エラーが発生したときは…

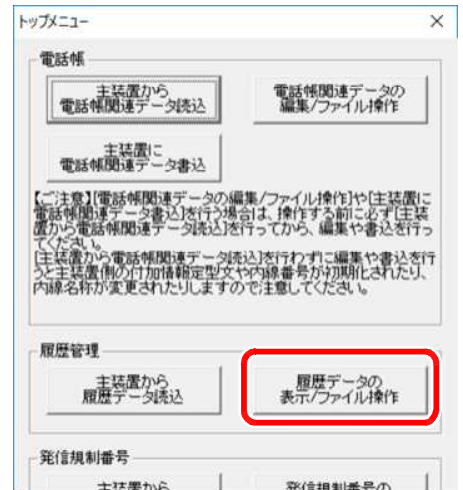
エラー画面の **OK** をクリックし、手順1からやり直してください。

◆パソコンのスペック不足やメモリの空きが少ないとエラーが発生しやすくなります。ほかのアプリケーションを終了したり、ディスプレイの色数を減らしたりすると改善できる場合があります。

### 3. 履歴データの表示とファイル操作

パソコンで履歴データの表示、ファイルへの保存を行います。  
外線着信履歴の操作を例に説明しています。  
※ファイルに保存しない場合は、手順6～9は不要です。

1 『トップメニュー画面』で **履歴データの表示/ファイル操作** をクリックする



2 『履歴関連メニュー画面』となる

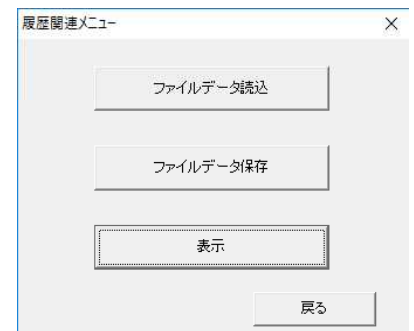
#### ●各ボタンの説明

**ファイルデータ読込** … 保存してある履歴データのファイルを読み込みます。  
⇒P3-7

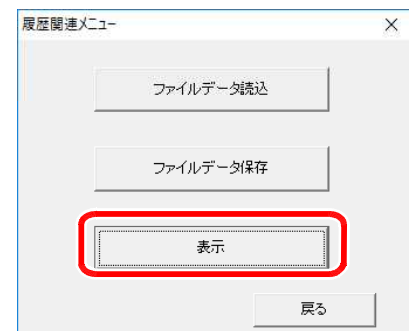
**ファイルデータ保存** … 読み込んだ履歴データをファイルに保存します。

**表示** … 読み込んだ履歴データを表示します。

**戻る** … 『トップメニュー画面』に戻ります。



3 『履歴関連メニュー画面』で **表示** をクリックする



ブラウザが起動し、Web画面が表示されるので、表示したい履歴のページを選択する

●履歴は最新の内容ではありません。読み込みを行った時点の履歴が表示されます。

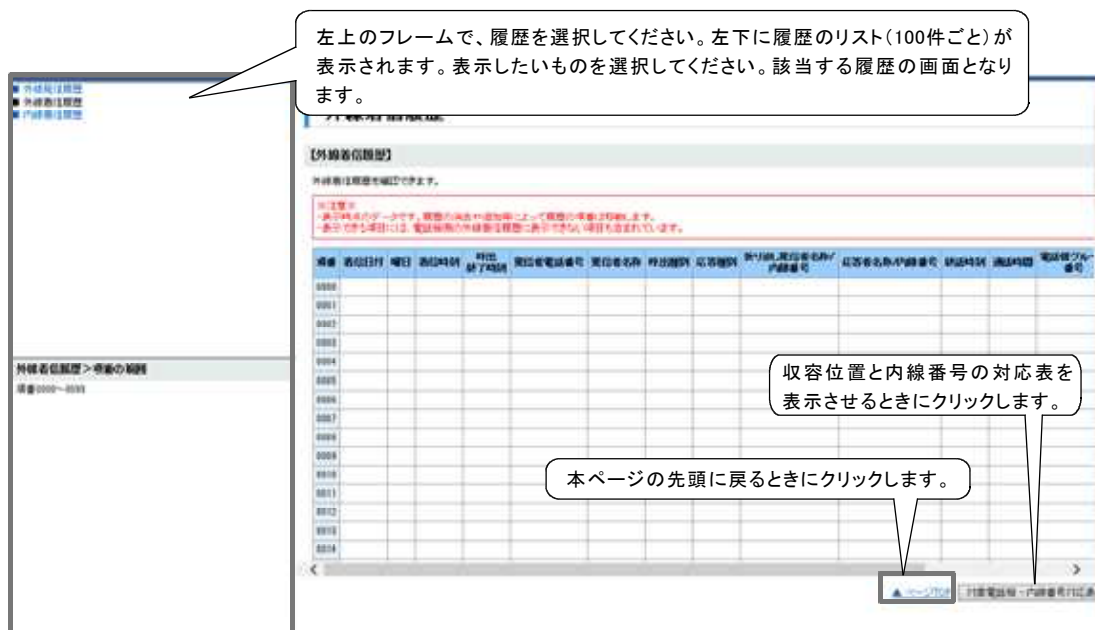
■各項目の表示内容は下記のとおりです。

- 項番: 履歴の番号です。新しい履歴から順に表示します(最新の履歴は0000)。
- 発信(着信)日付、曜日: 発信(着信)時の日付、曜日を表示します。
- 発信(着信)時刻: 発信(着信)時の時刻を表示します(24時間表示)。
- 呼出終了時刻: 応答したときはその時刻を、応答しなかったときは呼出が停止した時刻を表示します(24時間表示)。
- 発信者内線(電話)番号: 発信者の内線(電話)番号またはナースコールIDを表示します。
- 発信者名称: 発信者の内線(電話帳)名称、ヨミガナまたはナースコール制御機からの情報を表示します。  
※内線(電話帳(\*2))名称およびヨミガナが設定されていない場合は表示されません。
- 発信先電話番号(\*3): 発信先の電話番号を表示します。
- 発信先名称(\*3): 発信先の名称またはヨミガナを表示します。
- 発信者種別(\*1): 発信者の端末種別を表示します。  
※内線電話機の場合「一般内線」、インターホンの場合「インターホン」、IPカメラドアホン(インターホンとして利用時)の場合「IPCAMDH」、ナースコールの場合「ナースコール」となります。
- 呼出先名称/内線番号(\*1): 呼出先の内線名称、ヨミガナ、内線番号ナースコール制御機からの情報を表示します。  
※内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は内線番号が表示されます。  
※内線一般着信の内線番号に登録した内線名称なども表示できます。
- 応答種別: 着信に対して応答した場合は「応答」、応答しなかった場合は「不応答」、外線に転送した場合は「外線転送」を表示します。
- 呼出種別(\*1,\*2): インターホンの呼出元の情報を表示します。
- 折り返し発信者名称/内線番号(\*1,\*2): 不応答履歴に対して折り返し発信を行った電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号が表示されます。  
※内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、内線番号が表示されます。
- 応答者名称/内線番号(\*1,\*2): 最後に通話していた電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号を表示します。  
※内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、内線番号が表示されます。  
※内線一般着信の場合も最後に通話していた電話機の内線名称などを表示します。
- 応答者種別(\*1): 応答した端末種別を表示します。  
※内線電話機の場合「一般内線」、インターホンの場合「インターホン」、IPカメラドアホン(インターホンとして利用時)の場合「IPCAMDH」となります。
- 終話時刻: 終話時刻を表示します(24時間表示)。
- 通話時間: 通話時間を表示します(99:59:59まで表示)。
- 電話機グループ番号: 呼出先や最後に通話していた電話機の電話機グループ番号(2桁)を表示します。  
※内線着信に応答しなかったときは、呼出先電話機の電話機グループ番号を表示します。  
※内線一般着信に応答しなかったときは、内線一般着信の呼出番号に対応する電話機グループ番号を表示します。  
※ナースコール着信に応答しなかったときは、「01」を表示します。  
※DI/DIDなどの個別呼び出しに応答しなかったときは、最後に着信していた電話機の電話機グループ番号を表示します(\*2)。  
※そのほかの着信に応答しなかった、またはシステムが応答したときは、外線/DILINIに対応する電話機グループ番号を表示します(\*2)。
- 外線/DILIN番号(\*2,\*3): 着信した外線/DILIN番号を表示します。
- 理由コード(\*1): 通話時にダイヤルした理由コード2桁(00~99)を表示します。  
※未入力やナースコール着信時は表示しません。

\*1: 内線着信履歴時

\*2: 外線着信履歴時

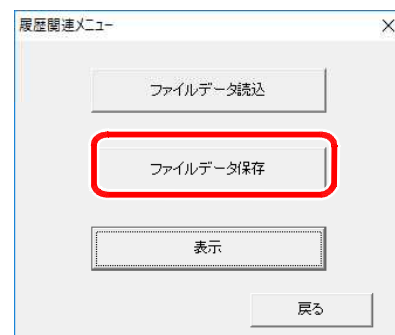
\*3: 外線発信履歴時





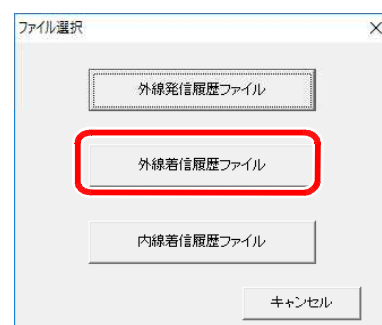
5 表示を終了する場合には、ブラウザを終了する  
※ブラウザを閉じても読み込んだ内容は消えません。

6 『履歴関連メニュー画面』で **ファイルデータ保存** をクリックする

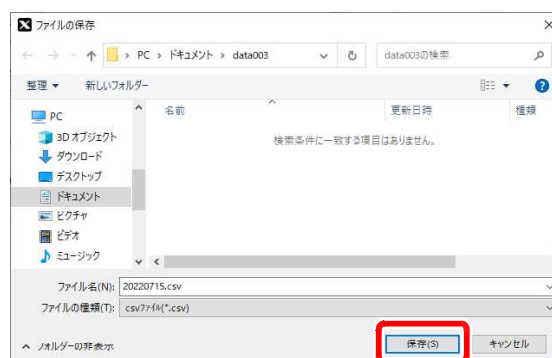


7 『ファイル選択画面』で **外線着信履歴ファイル** をクリックする

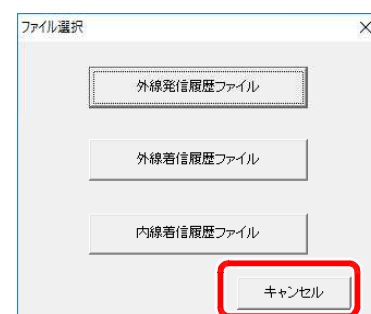
内線着信履歴を保存するときは、**内線着信履歴ファイル** を、  
外線発信履歴を保存するときは、**外線発信履歴ファイル** をクリックしてください。



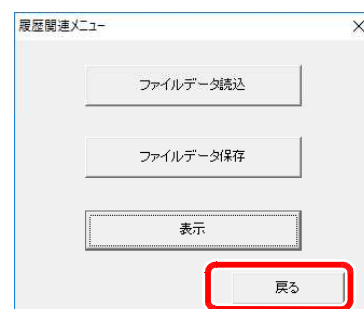
8 ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする  
読み込んだ外線着信履歴がファイルに保存されます。  
※CSVファイルで保存されます。



9 『ファイル選択画面』で **キャンセル** をクリックする



10 『履歴関連メニュー画面』で **戻る** をクリックする  
『トップメニュー画面』に戻ります。

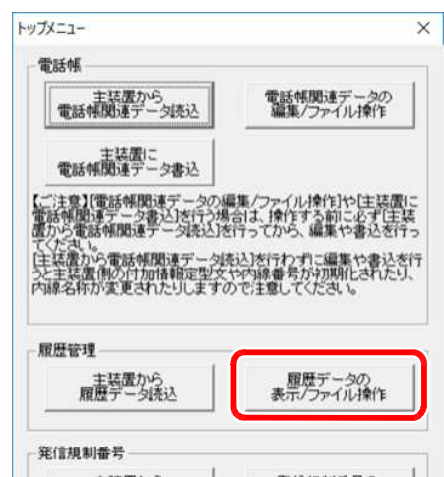




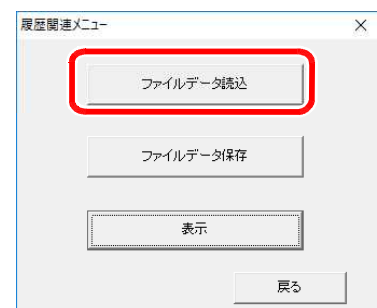
## 4. 保存した履歴データの確認

保存した履歴データを確認する。外線着信履歴の操作を例に説明しています。

- 1 『トップメニュー画面』で **履歴データの表示/ファイル操作** をクリックする

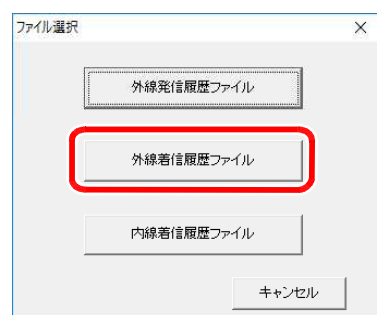


- 2 『履歴関連メニュー画面』で **ファイルデータ読込** をクリックする

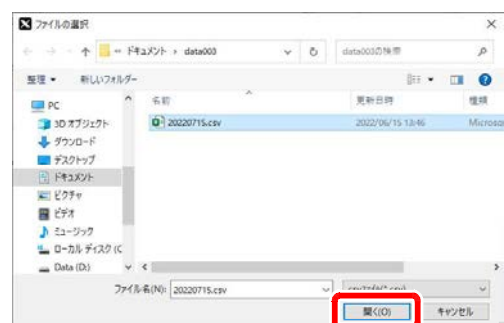


- 3 『ファイル選択画面』で **外線着信履歴ファイル** をクリックする

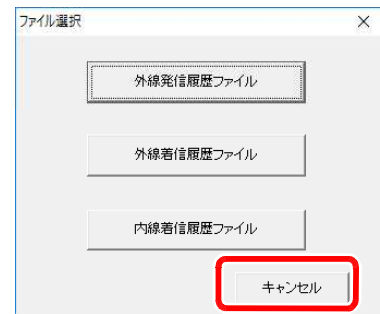
内線着信履歴を読み込むときは、**内線着信履歴ファイル** を、  
外線発信履歴を読み込むときは、**外線発信履歴ファイル** をクリックしてください。



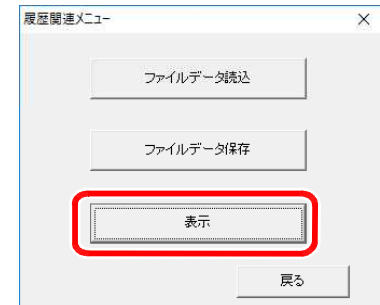
- 4 ファイル名を選択して **開く(O)** をクリックする  
保存されているファイルをプログラムに読み込みます。



5 『ファイル選択画面』で **キャンセル** をクリックする



6 『履歴関連メニュー画面』で **表示** をクリックする

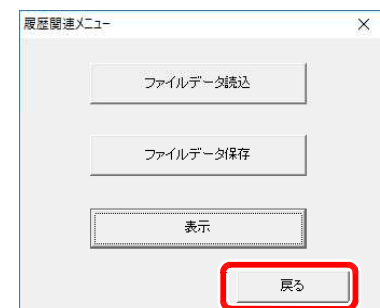


7 ブラウザが起動し、Web画面が表示されるので、  
表示したい外線着信履歴のページを選択し内容を確認する

各項目の表示内容については、P3-5の手順4の説明をご覧ください。

8 表示を終了する場合には、ブラウザを終了する  
※ブラウザを閉じて読み込んだ内容は消えません。

9 『履歴関連メニュー画面』で **戻る** をクリックする  
『トップメニュー画面』に戻ります。



## ●Excel®を使用して履歴データを確認する

履歴データはCSV形式で保存されますので、Excel®を使用して確認することができます。

①確認したいファイルを開きます。

②下記のフォーマットで表示します。

### ■内線着信履歴

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
1	2017E+11																	
2	項番	日付	曜日	時刻	呼出終了時刻	発信者内線番号	発信者名称	発信者種別	呼出種別	呼出先名称	応答種別	折り返し発信	応答者名称	応答者種別	終話時刻	通話時間	電話機グループ	理由コード
3	0	2017/7/3	月	16:05:25	16:05:28	101	田中	2		佐藤	1		佐藤		2	16:07:44	0:02:16	1
4	1	2017/7/3	月	16:00:08	16:01:11	102	佐藤	2		田中	0	田中						1
5	2	2017/7/3	月	15:20:24	15:20:40	101	田中	2		佐藤	1		佐藤		2	15:35:55	0:15:15	1
6	3																	
7	4																	
8	5																	
9	6																	

1行目のA列には、ファイルを保存した日時を表示します。

2行目の各列(A～R)の表示内容は下記のとおりです。

- A 項番: 履歴の番号です。新しい履歴から順に表示します(最新の履歴は0)。
- B 日付: 着信時の日付を表示します。
- C 曜日: 着信時の曜日を表示します。
- D 時刻: 着信時の時刻を表示します(24時間表示)。
- E 呼出終了時刻: 応答したときはその時刻を、応答しなかったときは呼出が停止した時刻を表示します(24時間表示)。
- F 発信者内線番号: 発信者の内線番号またはナースコールIDを表示します。
- G 発信者名称: 発信者の内線名称、ヨミガナまたはナースコール制御機からの情報を表示します。  
※内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は表示されません。
- H 発信者種別: 発信者の端末種別を表示します。  
ナースコール:3 内線電話機:2 IPカメラドアホン(インターホンとして利用時):1 インターホン:0
- I 呼出種別: インターホンの呼出元の情報を表示します。
- J 呼出先名称/内線番号: 呼出先の内線名称、ヨミガナまたは内線番号を表示します。  
※内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は内線番号が表示されます。  
※内線一般着信の内線番号に登録した内線名称なども表示できます。  
※ナースコール着信の場合は表示されません。
- K 応答種別: 着信に対して応答した場合は「1」、応答しなかった場合は「0」、外線に転送した場合は「2」を表示します。
- L 折り返し発信者名称/内線番号: 不応答履歴に対して折り返し発信を行った電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号が表示されます。
- M 応答者名称/内線番号: 最後に通話していた電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号を表示します。  
※内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、内線番号が表示されます。  
※内線一般着信の場合も最後に通話していた電話機の内線名称などを表示します。
- N 応答者種別: 応答した端末種別を表示します。  
※内線電話機の場合「2」、インターホンの場合「0」、IPカメラドアホン(IPカメラドアホンをインターホンとして利用時)の場合「1」を表示します。
- O 終話時刻: 終話時刻を表示します(24時間表示)。
- P 通話時間: 通話時間を表示します(99:59:59まで表示)。
- Q 電話機グループ番号: 呼出先や最後に通話していた電話機の電話機グループ番号を表示します。  
※内線着信に応答しなかったときは、呼出先電話機の電話機グループ番号を表示します。  
※内線一般着信に応答しなかったときは、内線一般着信の呼出番号に対応する電話機グループ番号を表示します。  
※ナースコール着信に応答しなかったときは、「01」を表示します。  
※外線転送着信に応答しなかったときは、呼出先電話機の電話機グループ番号を表示します。
- R 理由コード: 通話時にダイヤルした理由コードを表示します。  
※未入力やナースコール着信時は表示しません。

## ■外線着信履歴

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	F
1	2:02E+11															
2	項番	着信日付	曜日	着信時刻	呼出終了時刻	発信者電話番号	発信者名称	呼出種別	応答種別	折り返し発	応答者名称	終話時刻	通話時間	電話機グル	外線/DILIN番号	
3	0	20	/7/10	月	11:24:10	11:24:17	312345678	東京本社		1	佐藤	11:26:23	0:02:06		1	外線01
4	1	20	/7/10	月	11:20:05	11:20:14	451234567	青○商事		0	田中				1	外線01
5	2	20	/7/10	月	11:08:33	11:09:00	901234567	鈴木携帯		1	佐藤	11:15:33	0:06:33		1	外線01
6	3															
7	4															
8	5															
9	6															

1行目のA列には、ファイルを保存した日時を表示します。

2行目の各列(A～O)の表示内容は下記のとおりです。

- A 項番: 履歴の番号です。新しい履歴から順に表示します(最新の履歴は0)。
- B 着信日付: 着信時の日付を表示します。
- C 曜日: 着信時の曜日を表示します。
- D 着信時刻: 着信時の時刻を表示します(24時間表示)。
- E 呼出終了時刻: 応答したときはその時刻を、応答しなかったときは呼出が停止した時刻を表示します(24時間表示)。
- F 発信者電話番号: 発信者の電話番号を表示します(先頭に「0」にあっても、削除されます)。
- G 発信者名称: 発信者の電話帳名称またはヨミガナを表示します。  
※電話帳名称およびヨミガナが設定されていない場合は表示されません。
- H 呼出種別: インターホンの呼出元の情報を表示します。
- I 応答種別: 着信に対して応答した場合は「1」、応答しなかった場合は「0」を表示します。
- J 折り返し発信者名称/内線番号: 不応答履歴に対して折り返し発信を行った電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号が表示されます。
- K 応答者名称/内線番号: 最後に通話していた電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号を表示します。  
※内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、内線番号が表示されます。
- L 終話時刻: 終話時刻を表示します(24時間表示)。
- M 通話時間: 通話時間を表示します(99:59:59まで表示)。
- N 電話機グループ番号: 呼出先や最後に通話していた電話機の電話機グループ番号を表示します。  
※DI/DIDなどの個別呼び出し時に応答しなかったときは、最後に着信していた電話機の電話機グループ番号を表示します。  
※そのほかの着信に応答しなかった、またはシステムが応答したときは、外線/DILINに対応する電話機グループ番号を表示します。
- O 外線/DILIN番号: 着信した外線またはDILIN番号を表示します。

## ■外線発信履歴

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	2:02E+11													
2	項番	発信日付	曜日	発信時刻	呼出終了時刻	発信先電話番号	発信先名称	応答種別	発信者名称	終話時刻	通話時間	電話機グル	外線/DILIN番号	
3	0	20	/7/11	火	10:15:01	10:15:08	312345678	東京本社	1	田中	10:17:22	0:02:14	1	外線01
4	1	20	/7/11	火	10:30:05	10:30:28	451234567	青○商事	1	田中	10:40:40	0:10:12	1	外線01
5	2	20	/7/11	火	10:40:11	11:41:20	901234567	鈴木携帯	0	佐藤			1	外線01
6	3													
7	4													
8	5													
9	6													

1行目のA列には、ファイルを保存した日時を表示します。

2行目の各列(A～M)の表示内容は下記のとおりです。

- A 項番: 履歴の番号です。新しい履歴から順に表示します(最新の履歴は0)。
- B 発信日付: 発信時の日付を表示します。
- C 曜日: 発信時の曜日を表示します。
- D 発信時刻: 発信時の時刻を表示します(24時間表示)。
- E 呼出終了時刻: 応答したときはその時刻を、応答しなかったときは呼出が停止した時刻を表示します(24時間表示)。
- F 発信先電話番号: 発信先の電話番号を表示します(先頭に「0」にあっても、削除されます)。
- G 発信先名称: 発信先の電話帳名称またはヨミガナを表示します。  
※電話帳名称およびヨミガナが設定されていない場合は表示されません。
- H 応答種別: 相手が応答した場合は「1」、応答しなかった場合は「0」を表示します。
- I 発信者名称/内線番号: 発信者の内線名称、ヨミガナまたは内線番号を表示します。  
※内線名称およびヨミガナが設定されていない場合は、内線番号が表示されます。
- J 終話時刻: 終話時刻を表示します(24時間表示)。
- K 通話時間: 通話時間を表示します(99:59:59まで表示)。
- L 電話機グループ番号: 発信した電話機の電話機グループ番号を表示します。
- M 外線/DILIN番号: 着信した外線またはDILIN番号を表示します。

## 1. 本プログラムの操作の流れ

本プログラムは、以下の流れで操作してください。（参照ページは、各操作を記載している章の先頭ページを示しています。）

### [1] 事前に番号データを作成する場合

- ①プログラムの起動 ⇒P1-7
- ②「データの編集／ファイル操作のみ」を選択⇒P1-7
- ③PCでの設定、ファイルに保存 ⇒P4-4
  - 発信規制番号ファイル
  - 着信拒否番号ファイル

### [2] 新規に番号データを設定する場合 （事前作成ファイルなし）

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P1-7
- ③「主装置に接続して使用する」を選択⇒P1-7
- ④PCでの設定、ファイルに保存 ⇒P4-4
  - 発信規制番号ファイル
  - 着信拒否番号ファイル
- ⑤主装置にデータを書き込み ⇒P4-8

### [3] 新規に番号データを設定する場合 （事前作成ファイルあり）

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
  - ②プログラムの起動 ⇒P1-7
  - ③「主装置に接続して使用する」を選択⇒P1-7
  - ④ファイルの読み込み ⇒P4-4
    - 発信規制番号ファイル
    - 着信拒否番号ファイル
  - ⑤主装置にデータを書き込み ⇒P4-8
- ※読み込んだ内容を変更するときは、④の後で実施し、ファイルに保存してください。

### [4] 主装置の番号データをパソコンで読み込み、保存しておく場合

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P1-7
- ③「主装置に接続して使用する」を選択⇒P1-7
- ④主装置からデータを読み込み ⇒P4-2
- ⑤ファイルに保存 ⇒P4-4
  - 発信規制番号ファイル
  - 着信拒否番号ファイル

### [5] 主装置の番号データを変更する場合

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P1-7
- ③「主装置に接続して使用する」を選択⇒P1-7
- ④主装置からデータを読み込み ⇒P4-2
- ★必ず実行してください。
- ⑤PCでの変更 \* 1、ファイルに保存 ⇒P4-4
  - 発信規制番号ファイル
  - 着信拒否番号ファイル
- ⑥主装置にデータを書き込み ⇒P4-8

\* 1: 主装置から読み込んだ番号データを変更します。

## 2. 発信規制番号／着信拒否番号データの読み込み

主装置側の発信規制番号／着信拒否番号データをパソコンに読み込みます。  
発信規制番号データの操作を例に説明しています。

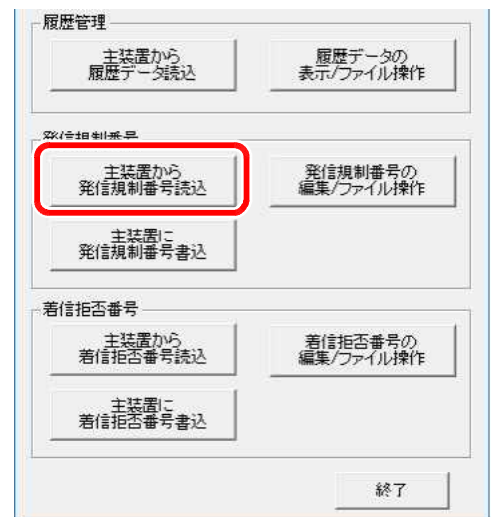
### ●事前確認（主装置の「工事・保守マニュアル」をご覧ください。）

- (1) 主装置とパソコンは接続されているか？
- (2) 主装置側のデータ設定アプリ用ポート設定はポートオープンになっているか？（\*9403）
- (3) 主装置のIPアドレス（\*9400）を変更した場合、主装置の電源のOFF／ONを行ったか？

※ \*9400、\*9403の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、特約店、販売店にお問い合わせください。

### 1 『トップメニュー画面』で **主装置から発信規制番号読込** をクリックする

着信拒否番号データを読み込むときは、**主装置から着信拒否番号読込** をクリックしてください。



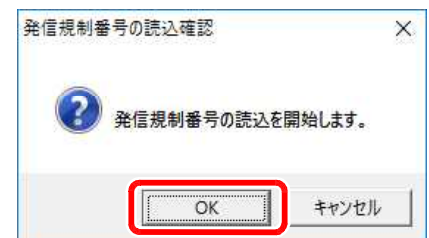
### 2 『発信規制番号の読込確認画面』となるので、**OK** をクリックする

★中断できないので注意してください。

**主装置から着信拒否番号読込** をクリックしたときは『着信拒否番号の読込確認画面』が表示されます。

※ **キャンセル** をクリックすると、『トップメニュー画面』に戻ります。

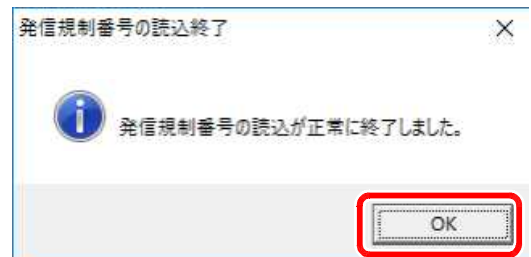
※読み込みを開始すると、『データ通信実行中画面』が表示され、インジケータに進行状況が表示されます。



### 3 読み込みが完了すると『発信規制番号の読込終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする

『トップメニュー画面』に戻ります。

**主装置から着信拒否番号読込** をクリックしたときは『着信拒否番号の読込終了画面』が表示されます。



## ご注意

★読み込み中は、ほかのアプリケーションを使用しないでください。通信エラーが発生することがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中に読み込んだデータを主装置に書き込むと、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

★読み込み中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーが発生することがあります。通信エラーが発生したときは、読み込みをやり直してください。また、電話機側で発信規制番号や着信拒否番号の登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。

※上記以外の場合でもエラーが発生することがあります。

●エラーが発生したときは…

エラー画面の **OK** をクリックし、手順1からやり直してください。

◆パソコンのスペック不足やメモリの空きが少ないとエラーが発生しやすくなります。ほかのアプリケーションを終了したり、ディスプレイの色数を減らしたりすると改善できる場合があります。

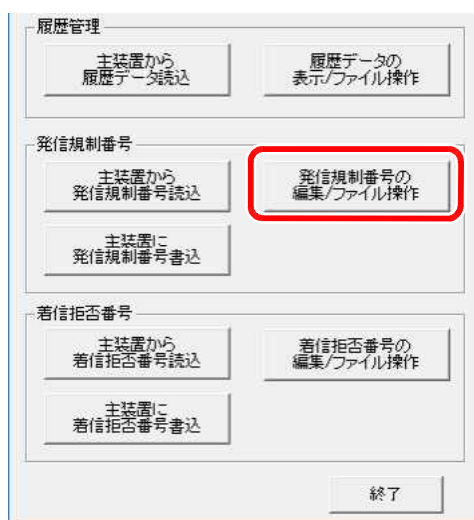


### 3. 発信規制番号／着信拒否番号データの編集

パソコンで発信規制番号／着信拒否番号データを編集したり、ファイルに保存したりします。  
発信規制番号データの操作を例に説明しています。

#### 1 『トップメニュー画面』で **発信規制番号の編集/ファイル操作** をクリックする

着信拒否番号データを操作するときは、**着信拒否番号の編集/ファイル操作** をクリックしてください。



#### 2 『発信規制番号メニュー画面』となる

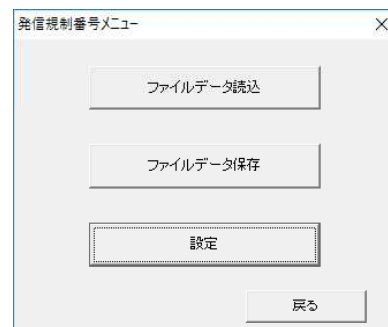
##### ●各ボタンの説明

**ファイルデータ読込** … 保存してあるファイルを読み込みます。

**ファイルデータ保存** … パソコン上にある発信規制番号データをファイルに保存します。⇒P4-6

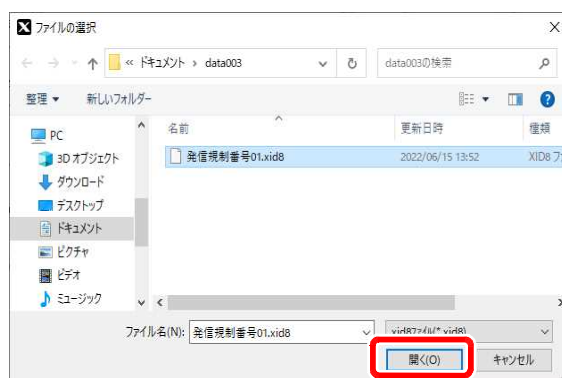
**設定** … パソコン上で発信規制番号データを編集します。

**戻る** … 『トップメニュー画面』に戻ります。



- 作成済みの番号データファイルを修正するときは、下記の手順で「ファイルデータ読込」を行ってください。  
★主装置から読み込んだ番号データを変更する場合は、この手順は実行しないでください。

- ①『発信規制メニュー画面』で **ファイルデータ読込** をクリックする
- ②読み込みたいファイルを選択して **開く(O)** をクリックするか、読み込みたいファイルをダブルクリックする



- ③『発信規制メニュー画面』に戻る

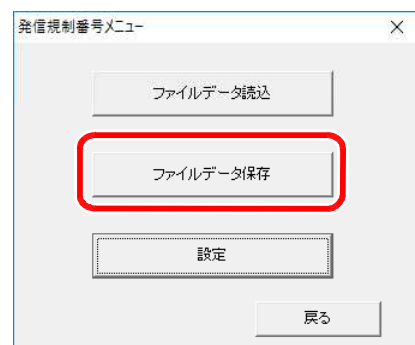
※CSVファイルの読み込みもできます。プルダウンメニューで「csvファイル(\*.csv)」を選び、ファイルを選択してください。  
CSVファイルに関しては、P4-7をご覧ください。





6

『発信規制番号メニュー画面』で **ファイルデータ保存** をクリックする



7

ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする

現在パソコン上にある発信規制番号データがファイルに保存されます。

※ファイルの拡張子は以下のようになります。

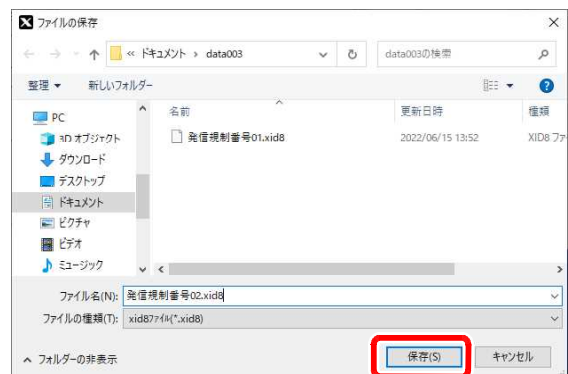
発信規制番号 : xid8

着信拒否番号 : xid9

※CSVファイルの保存もできます。

プルダウンメニューで「csvファイル(\*.csv)」を選択します。

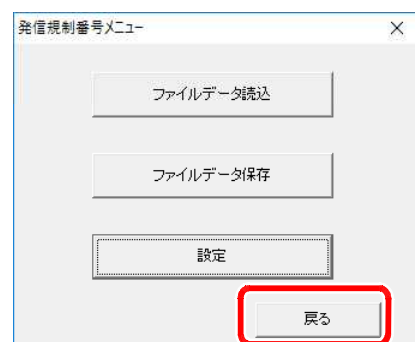
CSVファイルに関しては、P4-7をご覧ください。



8

『発信規制番号メニュー画面』で **戻る** をクリックする

『トップメニュー画面』に戻ります。



## ●Excel®を使用して発信規制番号／着信拒否番号データを作成、編集する

Excel® を使用して、発信規制番号／着信拒否番号データを作成したり、編集したりする場合は、CSV形式のファイルを使用します。

### (1)Excel®で番号ファイルを作成する

Excel® を使用して番号データを作成し、CSV形式で保存すると、本プログラムでそのファイルを読み込むことができます。※Excel® の使用方法はExcel® の説明書をご覧ください。

下記の手順に従って作成してください。

- ①下記に示すフォーマットで番号一覧を作成する。  
(すべてのセルの書式を「文字列」に設定してから作成してください。)

必ず0000を入力 →

	A	B	C	D
1	項番	電話番号		
2	0000	031234XXXX		
3	0001	061234XXXX		
4	0002	052123XXXX		
5	0003	090111XXXX		
6	0004	090222XXXX		
7	0005	090333XXXX		
8	0006	090444XXXX		
9	0007	090555XXXX		
10	0008	090666XXXX		

- 1行目:「項番」、「電話番号」という文字列を、上記の順番どおりに入力します。

- 項番: 0000から始まる連番(4桁)を半角数字で入力します。

必要な項番だけを入力してください(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の0000は必ず入力してください。

- 電話番号: 電話番号を入力します。(発信規制番号: 半角数字24文字まで、着信拒否番号: 半角数字16文字まで)

★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください(名前など)。

★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。すでに作成済みの番号一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。

★各項目の入力データが指定文字数を超過している場合、超過している部分は本プログラムで取得できませんので注意してください。

★同じ項番を複数入力しないでください。

★発信規制番号と着信拒否番号はフォーマットが同じです。ファイルを作成したり、読み込んだりする際には、それぞれを間違わないよう十分に注意してください。

### ②作成が終わったら、CSV形式で保存する。

※CSV形式のほか、Excel® の通常の形式でもファイルを保存しておくことをおすすめします。

CSV形式のファイルをExcel® に読み込んだ場合、電話番号欄の先頭の「0」が削除されますので、別途編集作業を行う場合は通常の形式で保存したファイルを利用した方が便利です。

### ③P4-4の手順の「ファイルデータ読込」で、②で保存したCSV形式ファイルを読み込んでください。

※CSV形式のファイルを読み込んだ後に、詳細画面で正常にデータが表示されていることを確認してください。(電話番号欄の先頭に「0」が入っていることを確認してください。)

## (2)本プログラムで保存したCSV形式のファイルを編集する

本プログラムで作成した発信規制番号／着信拒否番号データは、CSV形式でファイルを保存できます。後からExcel®を使用してこれらのデータを編集することができます。

詳しい手順は、P2-13をご覧ください。

## 4. 発信規制番号／着信拒否番号データの書き込み

パソコン側の発信規制番号／着信拒否番号データを主装置に書き込みます。  
発信規制番号データの操作を例に説明しています。

●事前確認（主装置の「工事・保守マニュアル」をご覧ください。）

- (1) 主装置とパソコンは接続されているか？
- (2) 主装置側のデータ設定アプリ用ポート設定はポートオープンになっているか？（＊9403）
- (3) 主装置のIPアドレス（＊9400）を変更した場合、主装置の電源のOFF／ONを行ったか？

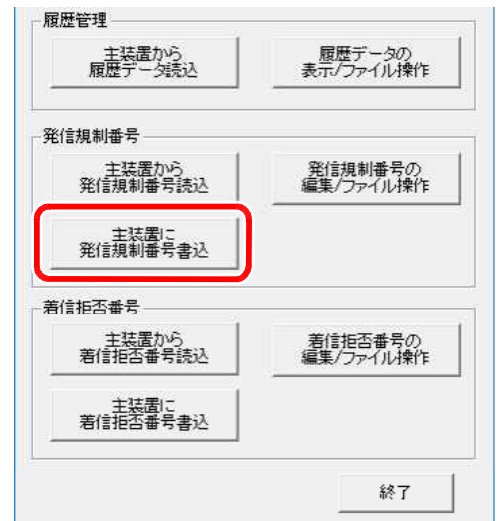
※＊9400、＊9403の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、特約店、販売店にお問い合わせください。

### 1 『トップメニュー画面』で **主装置に発信規制番号書込** をクリックする

着信拒否番号データを書き込むときは、**主装置に着信拒否番号書込** をクリックしてください。

★発信規制番号データが設定済みの主装置に、パソコン上にある発信規制番号データを書き込むと、主装置側のデータは上書きされます。必ず最初に主装置からデータを読み込んでください。

- ① 主装置からデータを読み込む（必要なもの）⇒P4-2
- ② 主装置から読み込んだ番号データを修正する。⇒P4-4  
※「ファイルデータ読込」は行わないでください。
- ③ 主装置にデータを書き込む（必要なもの）



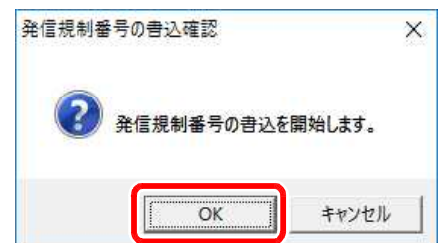
### 2 『発信規制番号の書込確認画面』となるので、**OK** をクリックする

★中断できないので注意してください。

**主装置に着信拒否番号書込** をクリックしたときは『着信拒否番号の書込確認画面』が表示されます。

※ **キャンセル** をクリックすると、『トップメニュー画面』に戻ります。

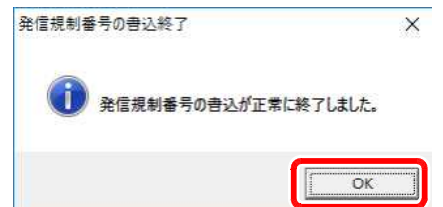
※書き込みを開始すると、『データ通信実行中画面』が表示され、インジケータに進行状況が表示されます。



### 3 書き込みが完了すると『発信規制番号の書込終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする

『トップメニュー画面』に戻ります。

**主装置に着信拒否番号書込** をクリックしたときは『着信拒否番号の書込終了画面』が表示されます。



## ご注意

★書き込み中は、ほかのアプリケーションを使用しないでください。通信エラーが発生することがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中に書き込みすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

★書き込み中に電話機を使用することもできますが、なるべく電話機で発信の操作をしていないときに行ってください。電話機の使用頻度が高くなると通信エラーが発生することがあります。通信エラーが発生したときは、書き込みをやり直してください。また、電話機側で発信規制番号や着信拒否番号の登録操作など、設定に関する操作は絶対に行わないでください。

※上記以外の場合でもエラーが発生することがあります。

●エラーが発生したときは…

エラー画面の **OK** をクリックし、手順1からやり直してください。

◆パソコンのスペック不足やメモリの空きが少ないとエラーが発生しやすくなります。ほかのアプリケーションを終了したり、ディスプレイの色数を減らしたりすると改善できる場合があります。